授業科目名	総合日本語 4 文法
科目番号	3901072
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 月 4
担当教員	小池 康
授業概要	書き言葉による文章の理解、産出に必要な文法を学び、使えるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N411
授業形態	演習
授業の到達目標及び	初中級レベルの文法項目を確実にマスターし、日常生活において正確に運用できるよ
テーマ	うになる。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション・レベルチェック、第2 <sup>~14</sup> 週:テキストに基づいた文法
	項目の学習および練習問題 (ただし第 8 週は中間試験)、第 15 週:期末試験
履修条件	プレースメントテストで総合日本語4レベル(以上)に認定されていること。
成績評価方法	期末試験 50%、中間試験 40%、出席・受講態度 10%
授業外における学習方	教科書の予習・復習
法	
教科書	1. Nihongo Drills for Intermediate Learners (The Japan Times, $1,200 \text{ yen} + \text{tax}$ )
参考書	授業内で紹介する。
受講生に望むこと	文法項目の予習以外にも、単語を調べ、文を読む練習をするなど、積極的に自習をし
	てほしい。
その他	・留学生センターでプレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受ける
	こと。
	・毎回、補足説明をするので、ノートを持ってくること。
L	

Course	Comprehensive Japanese 4 Grammar
Course No.	3901072
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Mon4
Instructor	Yasushi Koike
Course Overview	書き言葉による文章の理解、産出に必要な文法を学び、使えるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N411
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will fully master upper elementary level grammar items and be able to
	apply these in daily life.
Schedule	Week 1:Orientation/Level check
	Weeks 2 to 14:Study of grammar items and practice problems based on the text
	(Note: A midterm test is scheduled for Week 8)
	Week 15: Final test
	1.
Prerequisites	Students must have been placed at Level N400 (or higher) in the placement test.
Grading policy	Final test 50%, Midterm test 40%, Attendance and participation $10\%$
Study outside of class	Preview and review of the text
Textbook(s)	1. Nihongo Drills for Intermediate Learners (The Japan Times, $1,200 \text{ yen} + \text{tax}$ )
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student require-	Students are expected to be active learners and engage in searching vocabulary,
ments	practice reading, etc. apart from previewing the text.
Others	$\cdot$ Students must have been placed in this level according to the placement test of
	the International Student Center.
	$\cdot$ There will be supplementary explanation each meeting so have a notebook ready.

授業科目名	総合日本語 4 文法
科目番号	3901082
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 月 4
担当教員	小池 康
授業概要	書き言葉による文章の理解、産出に必要な文法を学び、使えるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N412
授業形態	演習
授業の到達目標及び	初中級レベルの文法項目を確実にマスターし、日常生活において正確に運用できるよ
テーマ	うになる。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション・レベルチェック、第2 <sup>~14</sup> 週:テキストに基づいた文法
	項目の学習および練習問題 (ただし第 8 週は中間試験)、第 15 週:期末試験
履修条件	プレースメントテストで総合日本語4レベル(以上)に認定されていること。
成績評価方法	期末試験 50%、中間試験 40%、出席・受講態度 10%
授業外における学習方	教科書の予習・復習
法	
教科書	1. Nihongo Drills for Intermediate Learners (The Japan Times, $1,200 \text{ yen} + \text{tax}$ )
参考書	授業内で紹介する。
受講生に望むこと	文法項目の予習以外にも、単語を調べ、文を読む練習をするなど、積極的に自習をし
	てほしい。
その他	・留学生センターでプレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受ける
	こと。
	・毎回、補足説明をするので、ノートを持ってくること。

Course	Comprehensive Japanese 4 Grammar
Course No.	3901082
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Mon4
Instructor	Yasushi Koike
Course Overview	書き言葉による文章の理解、産出に必要な文法を学び、使えるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N412
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will fully master upper elementary level grammar items and be able to
	apply these in daily life.
Schedule	Week 1:Orientation/Level check
	Weeks 2 to 14:Study of grammar items and practice problems based on the text
	(Note: A midterm test is scheduled for Week 8)
	Week 15: Final test
	1.
Prerequisites	Students must have been placed at Level N400 (or higher) in the placement test.
Grading policy	Final test 50%, Midterm test 40%, Attendance and participation $10\%$
Study outside of class	Preview and review of the text
Textbook(s)	1. Nihongo Drills for Intermediate Learners (The Japan Times, $1,200~{\rm yen}$ + tax)
Reference $book(s)$	To be introduced in class.
Student require-	Students are expected to be active learners and engage in searching vocabulary,
ments	practice reading, etc. apart from previewing the text.
Others	$\cdot$ Students must have been placed in this level according to the placement test of
	the International Student Center.
	$\boldsymbol{\cdot}$ There will be supplementary explanation each meeting so have a notebook ready.

授業科目名	総合日本語4話す聞く
科目番号	3901092
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 火 4
担当教員	陳 一吟
授業概要	身近なテーマや話題について、簡単な発表ができ、スピーチができる・分かるように
	なる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N461
授業形態	演習
授業の到達目標及び	・やさしいテレビ番組や会話を聞き取り、理解することができるようになる。
テーマ	・自分の国や身近な話題について説明したり、自分の意見を述べたり、他人の意見を
	まとめたりすることができるようになる。
授業の概要・計画	第1週 オリエンテーション、自己紹介
	第 2~14 週 スケジュールに基づいて授業を行う
	第1回
履修条件	プレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けなければならない。
成績評価方法	聴解テスト 40%、発表 40%、積極的な参加 20%
	(ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方	事前に提示されたテーマについて調べたり、他人にインタビューしたりする。
法	
教科書	1. Handouts
参考書	
受講生に望むこと	かならず準備をしたうえで授業に来ること。
その他	
·	

Course	Comprehensive Japanese 4 Speaking and Listening
Course No.	3901092
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Tue4
Instructor	Yiyin Chen
Course Overview	身近なテーマや話題について、簡単な発表ができ、スピーチができる・分かるように
	なる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N461
Course Type	class exercises
Objective(s)	$\cdot$ Students will be able to listen and understand conversations and simple $\mathrm{TV}$
	programs.
	$\cdot$ They will also be able to explain about their own country or about familiar
	topics, to give their opinion, and talk about other people's opinion.
Schedule	Week 1: Orientation and self-introductions
	Weeks 2 to 14: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class
	1.
Prerequisites	Students must have been placed in this level according to the placement test.
Grading policy	Listening tests 40%, Presentation 40%, Class participation $20\%$
	(Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Students should research and interview other people about assigned topics be-
	forehand.
Textbook(s)	1. Handouts
Reference $book(s)$	
Student require-	Students must come to class prepared with assignments.
ments	
Others	

	松合口士語(話士聞)
授業科目名	総合日本語 4 話す聞く
科目番号	3901102
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 火 4
担当教員	陳 一吟
授業概要	身近なテーマや話題について、簡単な発表ができ、スピーチができる・分かるように
	なる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N462
授業形態	演習
授業の到達目標及び	・やさしいテレビ番組や会話を聞き取り、理解することができるようになる。
テーマ	・自分の国や身近な話題について説明したり、自分の意見を述べたり、他人の意見を
	まとめたりすることができるようになる。
授業の概要・計画	第1週 オリエンテーション、自己紹介
	第 2~14 週 スケジュールに基づいて授業を行う
	第1回
履修条件	プレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けなければならない。
成績評価方法	聴解テスト 40%、発表 40%、積極的な参加 20%
	(ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方	事前に提示されたテーマについて調べたり、他人にインタビューしたりする。
法	
教科書	プリント教材
	1. Handouts
参考書	
受講生に望むこと	かならず準備をしたうえで授業に来ること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 4 Speaking and Listening
Course No.	3901102
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Tue4
Instructor	Yiyin Chen
Course Overview	身近なテーマや話題について、簡単な発表ができ、スピーチができる・分かるように
	なる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N462
Course Type	class exercises
Objective(s)	$\cdot$ Students will be able to listen and understand conversations and simple $\mathrm{TV}$
	programs.
	$\cdot$ They will also be able to explain about their own country or about familiar
	topics, to give their opinion, and talk about other people's opinion.
Schedule	Week 1: Orientation and self-introductions
	Weeks 2 to 14: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class
	1.
Prerequisites	Students must have been placed in this level according to the placement test.
Grading policy	Listening tests 40%, Presentation 40%, Class participation $20\%$
	(Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Students should research and interview other people about assigned topics be-
	forehand.
Textbook(s)	1. Handouts
Reference $book(s)$	
Student require-	Students must come to class prepared with assignments.
ments	
Others	

投業科目名         総合日本語 4 読む書く           料目器号         3901112           単位数         1.0 単位           構業履修年次         1 年次           時間副         春 ABC 水 4           担当教員         山田 野絵           授業概要         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           備考         外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。           N471            授業の到連目標及び テーマ         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           ・文章の内容を正しく理解する ・文章の大切な部分を読み取る ・文章の大切な部分を読み取る ・文章での大切な部分を読み取る ・文章での大切な部分を読み取る ・文章をの大切な部分を読み取る ・文章をの大切な部分を読み取る ・文章をの大切な部分を読み取る ・文章をの大切な部分を読み取る ・文章をあることを、割をにとと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第 1.週・オリエンテーション・レベルチェック 第 2*15.週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・朝末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出廃率が必要)           授業外における学習方         毎回の予習・復習および宿題 先           教科書         1. Handouts           参考書         特になし           受講生に起むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		
単位数         1.0 単位           標準履修年次         1 年次           時間割         春 ABC 水 4           担当教員         山田 野絵           授業概要         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           備考         外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。           N471            授業の到達目標及び テーマ         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           ・文章の内容を正しく理解する         ・文章の内容を正しく理解する           ・文章の大切な部分を読み取る         ・文章の大切な部分を読み取る           ・文章につけて、理解や考えを深める         ・文章につけて、理解や考えを深める           ・支章について、理解や考えを深める         ・文章について、理解や考えを深める           ・支章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える         ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす           ・自分の読み方を振り返る         第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック           第 2 15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外書         1. Handouts           参考書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	授業科目名	総合日本語 4 読む書く
標準履修年次         1 年次           時間割         着 ABC 水 4           担当教員         山田 野絵           授業概要         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           備考         外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。 N471           授業の到達目標及び テーマ         次2           技業の到達目標及び テーマ         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           ・文章の内容を正しく理解する         ・文章の内容を正しく理解する           ・文章の大切な部分を読み取る         ・文章を読んで、理解や考えを深める           ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える         ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす           ・自分の読み方を振り返る         第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック           第 2 15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方         毎回の予習・復習および宿題           浅料書         1. Handouts           參考書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	科目番号	3901112
時間割         春 ABC x 4           担当教員         山田 野絵           授業概要         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           備考         外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。 N471           授業の到達目標及び テーマ         次省つている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           ジロジロの容を正しく理解する         、文章の内容を正しく理解する           ・文章の大切な部分を読み取る         ・文章を大切な部分を読み取る           ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える           ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす           ・自分の読み方を振り返る           第 1 過:オリエンテーション・レベルチェック           第 1 過:オリエンテーション・レベルチェック           第 2 '15 過:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の認題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方         毎回の予習・復習および宿題 法           教科書         1. Handouts           参考書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	単位数	1.0 単位
担当教員         山田 野絵           授業概要         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           備考         外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。 N471           授業形態         演習           授業の到達目標及び テーマ         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           ・文章の内容を正しく理解する         ・文章の大切な部分を読み取る           ・文章について、理解したこと、考えたことを的確に伝える           ・該むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす           ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画           第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック           第 2 15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方 法         毎回の予習・復習および宿題           教科書         1. Handouts           参考書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	標準履修年次	1 年次
授業概要         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           備考         外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。 N471           授業の到達目標及び テーマ         演習           授業の到達目標及び テーマ         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           ・文章の内容を正しく理解する         ・文章の大切な部分を読み取る           ・文章について、理解や考えを深める         ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える           ・該むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす         ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック           第 2 15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外にあける学習方 法         毎回の予習・復習あよび宿題           教科書         1. Handouts           参考書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	時間割	春 ABC 水 4
なる。           備考         外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。 N471           授業形態         演習           授業の到達目標及び テーマ         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           ・文章の内容を正しく理解する ・文章の大切な部分を読み取る ・文章について、理解や考えを深める ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック 第 2 15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方 法         毎回の予習・復習および宿題           技科書         1. Handouts           参考書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	担当教員	山田 野絵
備考         外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。 N471           授業形態         演習           授業の到達目標及び テーマ         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           ・文章の内容を正しく理解する         ・文章の大切な部分を読み取る           ・文章について、理解や考えを深める         ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える           ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす         ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック           第 2~15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方         毎回の予習・復習および宿題           済         1. Handouts           参考書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	授業概要	よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように
認すること。 N471           授業形態         演習           授業の到達目標及び テーマ         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           ・文章の内容を正しく理解する ・文章の大切な部分を読み取る ・文章について、理解や考えを深める ・文章にこいて、理解や考えを深める ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第2~15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方 法         毎回の予習・復習および宿題           教科書         1. Handouts           愛講書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		なる。
N471           授業形態         演習           授業の到達目標及び テーマ         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。 ・文章の人切な部分を読み取る ・文章の人切な部分を読み取る ・文章について、理解や考えを深める ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第2°15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル 中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方 法         毎回の予習・復習および宿題           教科書         1. Handouts           參考書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
授業形態         演習           授業の到達目標及び テーマ         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           ・文章の内容を正しく理解する         ・文章の大切な部分を読み取る           ・文章について、理解や考えを深める         ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える           ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす         ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第1週:オリエンテーション・レベルチェック           第2~15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方 法         毎回の予習・復習および宿題           教科書         1. Handouts           参考書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		認すること。
授業の到達目標及び テーマ         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           ・文章の内容を正しく理解する         ・文章の大切な部分を読み取る           ・文章について、理解や考えを深める         ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える           ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす         ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック           第 2 15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方 法         毎回の予習・復習および宿題           教科書         1. Handouts           参考書         特になし           受調生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		N471
テーマ       なる。         ・文章の内容を正しく理解する         ・文章の大切な部分を読み取る         ・文章について、理解や考えを深める         ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える         ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす         ・自分の読み方を振り返る         授業の概要・計画         第1週:オリエンテーション・レベルチェック         第2°15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批         判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った         リ、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。         履修条件         総合日本語 3 修了レベル         成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10%         (ただし、70% 以上の出席率が必要)         授業外における学習方         毎回の予習・復習および宿題         法         教科書       1. Handouts         参考書       特になし         受講生に望むこと       毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	授業形態	演習
・文章の内容を正しく理解する           ・文章の大切な部分を読み取る           ・文章について、理解や考えを深める           ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える           ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす           ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画           第1週:オリエンテーション・レベルチェック           第2~15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批           判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った           リ、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件           総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法           中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10%           (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方           毎回の予習・復習および宿題           約科書           1. Handouts           参考書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	授業の到達目標及び	よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように
・文章の大切な部分を読み取る         ・文章について、理解や考えを深める         ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える         ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす         ・自分の読み方を振り返る         授業の概要・計画         第1週:オリエンテーション・レベルチェック         第2~15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批         判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った         リ、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。         履修条件       総合日本語 3 修了レベル         成績評価方法       中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10%         (ただし、70% 以上の出席率が必要)       授業外における学習方         毎回の予習・復習および宿題       1. Handouts         参考書       特になし         受講生に望むこと       毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	テーマ	なる。
・文章について、理解や考えを深める ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る授業の概要・計画第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第2~15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題教科書1. Handouts参考書特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		・文章の内容を正しく理解する
・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る授業の概要・計画第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第2~15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った リ、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題教科書1. Handouts参考書特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		・文章の大切な部分を読み取る
・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る授業の概要・計画第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第2~15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題教科書1. Handouts参考書特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		・文章について、理解や考えを深める
・自分の読み方を振り返る授業の概要・計画第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第2~15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題教科書1. Handouts参考書特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える
授業の概要・計画第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第2~15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った リ、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題教科書1. Handouts参考書特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす
第 2~15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批         判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った         リ、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。         履修条件       総合日本語 3 修了レベル         成績評価方法       中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)         授業外における学習方       毎回の予習・復習および宿題         教科書       1. Handouts         参考書       特になし         受講生に望むこと       毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		・自分の読み方を振り返る
判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題教科書1. Handouts参考書特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション・レベルチェック
り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題教科書1. Handouts参考書特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		第 2~15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批
履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題教科書1. Handouts参考書特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った
成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題教科書1. Handouts参考書特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。
(ただし、70% 以上の出席率が必要)         授業外における学習方         毎回の予習・復習および宿題         教科書         1. Handouts         参考書         特になし         受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	履修条件	総合日本語3修了レベル
授業外における学習方       毎回の予習・復習および宿題         法       1. Handouts         参考書       特になし         受講生に望むこと       毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	成績評価方法	中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10%
法        教科書     1. Handouts       参考書     特になし       受講生に望むこと     毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		(ただし、70% 以上の出席率が必要)
教科書     1. Handouts       参考書     特になし       受講生に望むこと     毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	授業外における学習方	毎回の予習・復習および宿題
参考書特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	法	
受講生に望むこと 毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	教科書	1. Handouts
	参考書	特になし
その他	受講生に望むこと	毎回の予習・復習および宿題を提出すること。
	その他	

Course	Comprehensive Japanese 4 Reading and Writing
Course No.	3901112
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Wed4
Instructor	Noe Yamada
Course Overview	よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように
	なる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N471
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to read and write read coherent discourse about familiar
	topics as well as:
	• correctly understand the content of the reading
	• gather the important points of the reading
	$\cdot$ deepen their knowledge and understanding of the reading
	$\cdot$ appropriately express what they understood and thought about the reading
	$\cdot$ increase their knowledge of vocabulary, expressions, grammar, and sentence
	patterns, etc. through reading
	$\cdot$ reflect on their own reading styles
Schedule	Week 1: Orientation/Level check
	Weeks 2 to 15: Reading of short passages such as news articles, essays, narratives,
	etc to deepen understanding of Japan. Students speak and write their thoughts
	about the readings to enable them to read critical reading material. There will
	be a midterm and final test.
	1.
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 3.
Grading policy	Midterm test 30%, Final test 40%, Other assigned work 20%, Class participation
	10%
	(Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Preview and review material and completion of homework
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	
Student require-	Students should always preview and review lessons, and complete and submit
ments	homework.
Others	

授業科自名総合日本語 4 読む書く科目電号3001122単位数1.0 単位標準歴修年次1年次問問別秋 ABC 水 4担当教員山田 野絵授業機要よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。備考外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。 N472授業形態演習授業の引達目標及び 大章の内容を正しく理解する ・文章の内容を正しく理解する ・文章の功な部分を読み取る ・文章の功な部分を読み取る ・文章の功な部分を読み取る ・文章の功状部分を読み取る ・文章の功状部分を読み取る ・文章の方を振り返る授業の概要・計画第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第215.週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みできるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った。 10.書いたりするようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った。 10.書いたりて、明子スト40% その他の課題20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席車が必要)授業外にあける学部方 教科書毎回の予習・復習および宿題 1. Handouts参考書第1-10受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を出すること。その他第回の予習・復習および宿題を出すること。その他毎回の予習・復習および宿題を出すること。その他毎回の予習・復習および宿題を出すること。その他毎回の予習・復習および宿題を出すること。		
川田・フ         中間           単位数         1.0 単位           標準履修年次         1 年次           時間割         秋 ABC 水 4           担当教員         山田 野絵           授業概要         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。           備考         外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確認すること。。           パマ2         「           授業の到達目標及び テーマ         人名コっている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。           ・文章の内容を正しく理解する ・文章の大切な部分を読み取る ・文章の大切な部分を読み取る ・文章を読んで、理解や考えを深める ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、証量・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第 1 週 オリエンテーション・レベルチェック 第 2 15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の知識の教を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル           成請評価方法         中間テスト・如素テストの実施。           履業外における学習方         毎回の予習・復習および宿題           済         ブリント教材 1. Handouts           参考書         特になし           受講上に望むことと。         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	授業科目名	総合日本語4読む書く
標準履修年次         1年次           時間創         秋 ABC 水 4           担当教員         山田 野絵           授業概要         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           備考         外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。           N472         「           授業の到達目標及び         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           ・N472         「           授業の到達目標及び         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           ・文章の内容を正しく理解する         ・文章の大切な部分を読み取る           ・文章の大切な部分を読み取る         ・文章について、理解や考えを深める           ・文章について、理解や考えを深める         ・文章について、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす           ・自分の読み方を振り返る         ジロジェジェクション・レベルチェック           「数         第1週:オリエンテーション・レベルレイルチェック           第2:15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができあことを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施           歴修条件         総合日本語 3 修了レベル           成語評価方法         (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方         ブリント教材           1、Handouts         ブリント教利           受講上に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	科目番号	3901122
時間劃秋 ABC 水 4担当教員山田 野絵授業報要よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。備考外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。 N472授業形態演習授業の到達目標及び 大文章の内容を正しく理解する ・文章の内容を正しく理解する ・文章の内容を正しく理解する ・文章の大切な部分を読み取る ・文章の大切な部分を読み取る ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る授業の概要・計画第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第2:15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施履修条件総合日本語 3 修 アレベル (ただし、70% 以上の出席率が必要)成績評価方法 法ブリント教材 1. Handouts教科書ブリント教材 1. Handouts愛講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	単位数	1.0 単位
担当教員山田 野絵授業概要よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。備考外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。 N472授業形態漢習授業の到達目構及び テーマよく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。シ、章の内容を正しく理解する ・文章の内容を正しく理解する ・文章の大切な部分を読み取る ・文章の大切な部分を読み取る ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る授業の概要・計画第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック 第 2*15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修 アレベル (ただし、70% 以上の出席率が必要)成績評価方法 法ブリント教材 1. Handouts教科書ブリント教材 1. Handouts愛講生に望むこと毎回の予習・復習あよび宿題を提出すること。	標準履修年次	1 年次
授業概要         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           備考         外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。 N472           授業の到達目標及び 授業の到達目標及び テーマ         演習           投業の到達目標及び 方ーマ         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。 ・文章の内容を正しく理解する ・文章について、理解や考えを深める ・文章について、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第2°15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修丁レベル 体にたし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方 法         毎回の予習・復習および宿題 54回           教科書         ブリント教材 1. Handouts           参考書         特になし 要講生に望むこと	時間割	秋 ABC 水 4
内国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確 におっこと。 N472授業形態演習授業の到達目標及び テーマよく知つている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようにた なる。 ・文章の内容を正しく理解する ・文章の大切な部分を読み取る ・文章について、理解や考えを深める ・文章について、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・方章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・方章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・方章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・方章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・方章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・方章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・方章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・方章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・方章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・方章を読んで、理解したこと、考えたことをのり に伝ごし、活動にりする。中間テスト・朝末テストの実施。授業の概要・計画第1週・オリエンテーション・レベルチェック 第 2*15 過:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った う、自いたりする。中間テスト・朝末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修丁レベル成績評価方法 法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題 1. Handouts資料者ブリント教材 1. Handouts資業生に望むこと特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	担当教員	山田 野絵
備考         外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確認すること。 N472           授業形態         演習           授業の到達目標及び テーマ         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。 ・文章の内容を正しく理解する ・文章の大切な部分を読み取る ・文章について、理解や考えを深める ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第1 週:オリエンテーション・レベルチェック 第2°15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言ったり、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方 法         毎回の予習・復習および宿題           教科書         ブリント教材 1. Handouts           登書書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	授業概要	よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように
認すること。 N472授業形態演習授業の到達目標及び テーマよく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。 ・文章の内容を正しく理解する ・文章の大切な部分を読み取る ・文章でつ大切な部分を読み取る ・文章でついて、理解や考えを深める ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・対章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・対章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・対章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・支章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・支章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・対章を読んで、理解したこと、考えたことをの確に伝える ・対章を読んで、理解したこと、考えたことを引加して、 第2~15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法 (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題 20% 平常点 10% (ただし技科書ブリント教材 1. Handouts愛講書特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		なる。
N472授業形態演習授業の到達目標及び ラーマよく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。 ・文章の内容を正しく理解する ・文章の大切な部分を読み取る ・文章の大切な部分を読み取る ・文章について、理解や考えを深める ・文章について、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・技算について、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・技算にのごて、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、結量・表現・文法、文型等の知識を増やす ・目分の読み方を振り返る授業の概要・計画第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第12:オリエンテーション・レベルチェック授業の概要・計画第12:オリエンテーション・レベルチェック 、第19:訪らができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法 にたし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習 法毎回の予習・復習および宿題 1. Handouts教科書ブリント教材 1. Handouts受講生に望むこと毎回の予習・復習あよび宿題を提出すること。	備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
授業形態         演習           授業の到達目標及び テーマ         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。 ・文章の内容を正しく理解する ・文章の大切な部分を読み取る ・文章について、理解や考えを深める ・文章について、理解や考えを深める ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、詰集・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第2°15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル 休憩日本語 3 修了レベル           成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方         毎回の予習・復習および宿題           法         ブリント教材 1. Handouts           参考書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		認すること。
授業の到達目標及び テーマ         よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように なる。           ・文章の内容を正しく理解する         ・文章の内容を正しく理解する           ・文章の大切な部分を読み取る         ・文章について、理解や考えを深める           ・文章について、理解や考えを深める         ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える           ・読むことを通して、詰彙・表現・文法・文型等の知識を増やす         ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第1週:オリエンテーション・レベルチェック           第2 <sup>-15</sup> 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方 法         毎回の予習・復習および宿題           教科書         ブリント教材 1. Handouts           参考書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		N472
テーマなる。・文章の内容を正しく理解する ・文章の大切な部分を読み取る ・文章について、理解や考えを深める ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る授業の概要・計画第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第2°15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題教科書ブリント教材 1. Handouts参考書特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	授業形態	演習
・文章の内容を正しく理解する           ・文章の大切な部分を読み取る           ・文章について、理解や考えを深める           ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える           ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす           ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画           第1週:オリエンテーション・レベルチェック           第2°15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方         毎回の予習・復習および宿題           済料書         ブリント教材 1. Handouts           参考書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	授業の到達目標及び	よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように
・文章の大切な部分を読み取る           ・文章について、理解や考えを深める           ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える           ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす           ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画           第1週:オリエンテーション・レベルチェック           第2`15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批           判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った           り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件           総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法           中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10%           (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方           毎回の予習・復習および宿題           パリント教材           1. Handouts           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	テーマ	なる。
・文章について、理解や考えを深める           ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える           ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす           ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画           第1週:オリエンテーション・レベルチェック           第2 <sup>-</sup> 15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批           判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った           リの読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った           リ、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件           総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法           中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10%           (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習お           毎回の予習・復習および宿題           教科書         ブリント教材           1. Handouts           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		・文章の内容を正しく理解する
・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える           ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす           ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第1週:オリエンテーション・レベルチェック           第2 <sup>*1</sup> 5週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批           判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った           10、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件           総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法           中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10%           (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方           海回の予習・復習および宿題           教科書         ブリント教材           1. Handouts           参考書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		・文章の大切な部分を読み取る
・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす           ・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第1週:オリエンテーション・レベルチェック           第2°15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批           判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った           り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件         総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法         中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10%           (ただし、70% 以上の出席率が必要)         (ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方         毎回の予習・復習および宿題           教科書         ブリント教材           1. Handouts         1. Handouts           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		・文章について、理解や考えを深める
・自分の読み方を振り返る           授業の概要・計画         第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック           第 2 ~ 15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批           判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った           リ、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。           履修条件           総合日本語 3 修了レベル           成績評価方法           中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10%           ただし、70% 以上の出席率が必要)           授業外における学習方           毎回の予習・復習および宿題           済利書           ブリント教材           1. Handouts           参考書           特になし           受講生に望むこと		・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える
授業の概要・計画 第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第2~15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題教科書ブリント教材 1. Handouts参考書特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす
第 2~15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批 判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った し、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題教科書ブリント教材 1. Handouts参考書特になし9毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		・自分の読み方を振り返る
判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題教科書プリント教材 1. Handouts参考書特になし9毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション・レベルチェック
り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題教科書プリント教材 1. Handouts参考書特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		第 2 <sup>~15</sup> 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批
履修条件総合日本語 3 修了レベル成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 技毎回の予習・復習および宿題教科書プリント教材 1. Handouts参考書特になし受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言った
成績評価方法中間テスト 30% 期末テスト 40% その他の課題 20% 平常点 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)授業外における学習方 法毎回の予習・復習および宿題教科書プリント教材1. Handouts参考書特になし9毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		り、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。
(ただし、70% 以上の出席率が必要)         授業外における学習方         毎回の予習・復習および宿題         教科書         プリント教材         1. Handouts         参考書         特になし         9時生に望むこと	履修条件	総合日本語3修了レベル
授業外における学習方       毎回の予習・復習および宿題         法       プリント教材         1. Handouts       1. Handouts         参考書       特になし         受講生に望むこと       毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	成績評価方法	中間テスト $30\%$ 期末テスト $40\%$ その他の課題 $20\%$ 平常点 $10\%$
法         ビー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(ただし、70% 以上の出席率が必要)
教科書         プリント教材           1. Handouts           参考書         特になし           受講生に望むこと         毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	授業外における学習方	毎回の予習・復習および宿題
1. Handouts       参考書     特になし       受講生に望むこと     毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	法	
参考書     特になし       受講生に望むこと     毎回の予習・復習および宿題を提出すること。	教科書	プリント教材
受講生に望むこと毎回の予習・復習および宿題を提出すること。		1. Handouts
	参考書	特になし
その他	受講生に望むこと	毎回の予習・復習および宿題を提出すること。
	その他	

Course	Comprehensive Japanese 4 Reading and Writing
Course No.	3901122
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Wed4
Instructor	Noe Yamada
Course Overview	よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするように
	なる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N472
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to read and write read coherent discourse about familiar
	topics as well as:
	• correctly understand the content of the reading
	$\cdot$ gather the important points of the reading
	$\cdot$ deepen their knowledge and understanding of the reading
	- appropriately express what they understood and thought about the reading
	$\cdot$ increase their knowledge of vocabulary, expressions, grammar, and sentence
	patterns, etc. through reading
	$\cdot$ reflect on their own reading styles
Schedule	Week 1: Orientation/Level check
	Weeks 2 to 15: Reading of short passages such as news articles, essays, narratives,
	etc to deepen understanding of Japan. Students speak and write their thoughts
	about the readings to enable them to read critical reading material. There will
	be a midterm and final test.
	1.
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 3.
Grading policy	Midterm test 30%, Final test 40%, Other assigned work 20%, Class participation
	10%
	(Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Preview and review material and completion of homework
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	
Student require-	Students should always preview and review lessons, and complete and submit
ments	homework.
Others	

授業科目名	総合日本語 5 文法
科目番号	3901132
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 月 3
担当教員	沖田 弓子
授業概要	やや専門的な内容の文章理解、産出に必要な文法を理解し使えるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N511
授業形態	演習
授業の到達目標及び	中級レベルまでの文法項目をマスターし、日本語での作文および読解が正確にできる
テーマ	ようになる。
授業の概要・計画	第1週オリエンテーション・レベルチェック、第2~14週文章の産出、理解に必要
	な文法の学習、第 15 週 まとめ
履修条件	総合日本語 4 レベル修了相当の日本語力があること。総合日本語 4 レベル修了相当
	の文法の知識と運用力があること。
成績評価方法	出席・参画 20%、課題・宿題 20%、中間テスト・期末テスト 60%
授業外における学習方	宿題 (学習した文章、文法の復習)
法	
教科書	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio)[Tentative]
参考書	適宜、授業内で紹介する。
受講生に望むこと	授業で学習したことをよく復習して、宿題・課題を必ず提出すること。
その他	受講者のレベルに合わせ、授業を柔軟に行う。

Course	Comprehensive Japanese 5 Grammar
Course No.	3901132
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Mon3
Instructor	Yumiko Okita
Course Overview	やや専門的な内容の文章理解、産出に必要な文法を理解し使えるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N511
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to write compositions and read with a mastery of interme-
	diate level grammar items.
Schedule	Week 1: Orientation/Level check
	Weeks 2 to 14: Sentence construction and comprehensive study of grammar
	Week 15: Wrap-up
	1.
Prerequisites	Students should have attained the level N400 or possess an equivalent level of
	grammar knowledge.
Grading policy	Attendance and participation $20\%$ , Assignments and homework $20\%$ ,
	Midterm/Final test $60\%$
Study outside of class	Homework (Studied text, grammar practice)
Textbook(s)	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio)[Tentative]
Reference book(s)	To be introduced in class, as necessary.
Student require-	Review past lessons and promptly hand in homework.
ments	
Others	Lessons will be conducted appropriate to the students' level.

授業科目名	総合日本語 5 文法
科目番号	3901142
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 月 3
担当教員	沖田 弓子
授業概要	やや専門的な内容の文章理解、産出に必要な文法を理解し使えるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N512
授業形態	演習
授業の到達目標及び	中級レベルまでの文法項目をマスターし、日本語での作文および読解が正確にできる
テーマ	ようになる。
授業の概要・計画	第1週オリエンテーション・レベルチェック、第2~14週文章の産出、理解に必要
	な文法の学習、第15週まとめ
履修条件	総合日本語 4 レベル修了相当の日本語力があること。総合日本語 4 レベル修了相当
	の文法の知識と運用力があること。
成績評価方法	出席・参画 20%、課題・宿題 20%、中間テスト・期末テスト 60%
授業外における学習方	宿題 (学習した文章、文法の復習)
法	
教科書	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio)[Tentative]
参考書	適宜、授業内で紹介する。
受講生に望むこと	授業で学習したことをよく復習して、宿題・課題を必ず提出すること。
その他	受講者のレベルに合わせ、授業を柔軟に行う。

Course	Comprehensive Japanese 5 Grammar
Course No.	3901142
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Mon3
Instructor	Yumiko Okita
Course Overview	やや専門的な内容の文章理解、産出に必要な文法を理解し使えるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N512
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to write compositions and read with a mastery of interme-
	diate level grammar items.
Schedule	Week 1: Orientation/Level check
	Weeks 2 to 14: Sentence construction and comprehensive study of grammar
	Week 15: Wrap-up
	1.
Prerequisites	Students should have attained the level N400 or possess an equivalent level of
	grammar knowledge.
Grading policy	Attendance and participation $20\%$ , Assignments and homework $20\%$ ,
	Midterm/Final test $60\%$
Study outside of class	Homework (Studied text, grammar practice)
Textbook(s)	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio)[Tentative]
Reference book(s)	To be introduced in class, as necessary.
Student require-	Review past lessons and promptly hand in homework.
ments	
Others	Lessons will be conducted appropriate to the students' level.

授業科目名	総合日本語5話す聞く
	3901152
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 火 3
担当教員	平形 裕紀子
授業概要	やや専門的な内容の解説、スピーチがわかるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N561
授業形態	演習
授業の到達目標及び	初級・中級で学んだ語彙や文法項目を使って日常生活や学習場面でよく出会う会話を
テーマ	聞き取り、必要な表現を使用して、自分の意志を相手に伝えられるようになる。また、
	対人関係に基づいた以下の言葉の使い分けができるようになることを目標とする。
	・普通体・丁寧体の使い分けを理解し、運用することができる。
	・尊敬語・謙譲語を聞き取り、使いこなすことができる。
	・日本文化を意識しながら会話を行うことができる。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。
履修条件	留学生センターでプレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けなければ
	ならない。
成績評価方法	最終発表 50%、テスト (聴解)30% 積極的な参加 20%
	(ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方	テレビ・ラジオ・日常生活での実際運用
法	
教科書	1. Handouts
参考書	必要時に紹介する
受講生に望むこと	事前に出された課題を準備してから授業に出ること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 5 Speaking and Listening
Course No.	3901152
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Tue3
Instructor	Yukiko Hirakata
Course Overview	やや専門的な内容の解説、スピーチがわかるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N561
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to listen to conversations in daily life and academic sit-
	uations using vocabulary and grammar they learned in the elementary and in-
	termediate levels as well as being able to state their purpose or intention using
	essential expressions. They are able to properly use words based on interpersonal
	relationships and achieve the following:
	$\cdot$ Understand and use the plain and polite forms according to the situation
	• Listen and know how to use the respectful and humble forms
	$\cdot$ Participate in a conversation with an awareness of Japanese culture
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class
	1.
Prerequisites	Students must have been placed in this level according to the placement test of
	the International Student Center.
Grading policy	Final presentation 50%, Test (listening) 30%, Class participation $20\%$
	(Attendance rate of $70\%$ or higher is required)
Study outside of class	Practical application of lessons in students' everyday life and through watching
	TV and listening to the radio
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	Will be introduced as necessary
Student require-	Students must come to class prepared and having completed assignments before-
ments	hand.
Others	

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
授業科目名	総合日本語 5 話す聞く
科目番号	3901162
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 火 3
担当教員	平形 裕紀子
授業概要	やや専門的な内容の解説、スピーチがわかるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N562
授業形態	演習
授業の到達目標及び	初級・中級で学んだ語彙や文法項目を使って日常生活や学習場面でよく出会う会話を
テーマ	聞き取り、必要な表現を使用して、自分の意志を相手に伝えられるようになる。また、
	対人関係に基づいた以下の言葉の使い分けができるようになることを目標とする。
	・普通体・丁寧体の使い分けを理解し、運用することができる。
	・尊敬語・謙譲語を聞き取り、使いこなすことができる。
	・日本文化を意識しながら会話を行うことができる。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。
履修条件	留学生センターでプレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けなければ
	ならない。
成績評価方法	テスト $50\%$ 、宿題等提出物 $30\%$ 積極的な参加 $20\%$
	(ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方	テレビ・ラジオ・日常生活での実際運用
法	
教科書	プリント教材
	1. Handouts
参考書	必要時に紹介する
受講生に望むこと	事前に出された課題を準備してから授業に出ること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 5 Speaking and Listening
Course No.	3901162
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Tue3
Instructor	Yukiko Hirakata
Course Overview	やや専門的な内容の解説、スピーチがわかるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N562
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to listen to conversations in daily life and academic sit-
	uations using vocabulary and grammar they learned in the elementary and in-
	termediate levels as well as being able to state their purpose or intention using
	essential expressions. They are able to properly use words based on interpersonal
	relationships and achieve the following:
	• Understand and use the plain and polite forms according to the situation
	• Listen and know how to use the respectful and humble forms
	$\cdot$ Participate in a conversation with an awareness of Japanese culture
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class
	1.
Prerequisites	Students must have been placed in this level according to the placement test of
	the International Student Center.
Grading policy	Final presentation 50%, Test (listening) 30%, Class participation 20%
	(Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Practical application of lessons in students' everyday life and through watching
	TV and listening to the radio
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	Will be introduced as necessary
Student require-	Students must come to class prepared and having completed assignments before-
ments	hand.
Others	

授業科目名	総合日本語 5 読む書く
科目番号	3901172
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 水 3
担当教員	杉浦 千里
授業概要	やや専門的な事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようにな
	<b>ర</b> .
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N571
授業形態	演習
授業の到達目標及び	・文章の内容を正しく理解する。
テーマ	・読んだものについて、理解、考えを深める。
	・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝える
	ことができる。
	・語彙・表現・文法・文型を学び、使えるようになる。
授業の概要・計画	第1週:授業案内 (オリエンテーション) 第2週 $^{-14}$ 週:新聞記事、エッセイ、物語など
	を読む。内容理解質問に的確に口頭、および文章で答えられるように練習をする。語
	彙・表現・文法・文型を豊かにしていく。読んだものに関して意見、感想を他の学習
	者と交換する。引用をしながら、感想文が書けるように練習する。読み物ごとに小テ
	ストを行う。第15週:期末テスト
履修条件	総合日本語 4 修了レベル
成績評価方法	作文提出 30%、小テスト 30%、期末テスト 40%
授業外における学習方	毎回の予習と復習、宿題の提出、読み物の背景知識に関する情報収集
法	
教科書	授業開始時に指示する。
参考書	授業時に紹介する
受講生に望むこと	授業ではペアワークなどの活動を取り入れるので積極的に参加し、発言してほしい。
	宿題の提出をすること。
その他	受講者の状況により授業内容を変更することがある。

Course	Comprehensive Japanese 5 Reading and Writing
Course No.	3901172
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Wed3
Instructor	Chisato Sugiura
Course Overview	やや専門的な事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようにな
	వె.
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N571
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to:
	• correctly understand the content of the reading.
	$\cdot$ deepen their knowledge and understanding of the reading
	• appropriately express both orally and in writing what they understood and
	thought about the reading
	$\cdot$ learn and use vocabulary, expressions, grammar, and sentence patterns
Schedule	Week 1: Course introduction (Orientation)
	Weeks 2 to 14: Reading articles, essays, narratives, etc. We will practice how to
	correctly answer reading comprehension questions both orally and in writing.
	There will be activities to enrich knowledge of vocabulary, expressions, grammar,
	and sentence patterns, and for students to exchange ideas and opinion about the
	reading with others. Students will also be trained to write reflective essays and
	learn to use quotations. Short tests on each reading will be given.
	Week 15: Final test
	1.
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 4.
Grading policy	Submitted compositions 30%, Short tests 30%, Final test 40%
Study outside of class	Students should always preview and review lessons, complete and submit home-
	work, and gather background information on the readings.
Textbook(s)	The textbook will be announced when classes start.
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student require-	Students are expected to actively participate and to speak out during activities
ments	such as pair work. Homework should be promptly submitted.
Others	The class content may change subject to the students' needs.

授業科目名	総合日本語 5 読む書く
科目番号	3901182
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 水 3
担当教員	杉浦 千里
授業概要	やや専門的な事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようにな
	<b>ర</b> .
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N572
授業形態	演習
授業の到達目標及び	・文章の内容を正しく理解する。
テーマ	・読んだものについて、理解、考えを深める。
	・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝える
	ことができる。
	・語彙・表現・文法・文型を学び、使えるようになる。
授業の概要・計画	第1週:授業案内 (オリエンテーション) 第2週~14週:新聞記事、エッセイ、物語など
	を読む。内容理解質問に的確に口頭、および文章で答えられるように練習をする。語
	彙・表現・文法・文型を豊かにしていく。読んだものに関して意見、感想を他の学習
	者と交換する。引用をしながら、感想文が書けるように練習する。読み物ごとに小テ
	ストを行う。第15週:期末テスト
履修条件	総合日本語 4 修了レベル
成績評価方法	作文提出 30%、小テスト 30%、期末テスト 40%
授業外における学習方	毎回の予習と復習、宿題の提出、読み物の背景知識に関する情報収集
法	
教科書	授業開始時に指示する。
参考書	授業時に紹介する
受講生に望むこと	授業ではペアワークなどの活動を取り入れるので積極的に参加し、発言してほしい。
	宿題の提出をすること。
その他	受講者の状況により授業内容を変更することがある。

Course	Comprehensive Japanese 5 Reading and Writing
Course No.	3901182
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Wed3
Instructor	Chisato Sugiura
Course Overview	やや専門的な事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようにな
	వె.
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N572
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to:
	• correctly understand the content of the reading.
	$\cdot$ deepen their knowledge and understanding of the reading
	• appropriately express both orally and in writing what they understood and
	thought about the reading
	$\cdot$ learn and use vocabulary, expressions, grammar, and sentence patterns
Schedule	Week 1: Course introduction (Orientation)
	Weeks 2 to 14: Reading articles, essays, narratives, etc. We will practice how to
	correctly answer reading comprehension questions both orally and in writing.
	There will be activities to enrich knowledge of vocabulary, expressions, grammar,
	and sentence patterns, and for students to exchange ideas and opinion about the
	reading with others. Students will also be trained to write reflective essays and
	learn to use quotations. Short tests on each reading will be given.
	Week 15: Final test
	1.
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 4.
Grading policy	Submitted compositions 30%, Short tests 30%, Final test $40\%$
Study outside of class	Students should always preview and review lessons, complete and submit home-
	work, and gather background information on the readings.
Textbook(s)	The textbook will be announced when classes start.
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student require-	Students are expected to actively participate and to speak out during activities
ments	such as pair work. Homework should be promptly submitted.
Others	The class content may change subject to the students' needs.

授業科目名	総合日本語 1
科目番号	3901192
単位数	4.0 単位
標準履修年次	1年次
時間割	春 ABC 月・火・水・木 4
担当教員	ブッシュネル ケード コンラン
授業概要	初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能に
	おいては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについて
	は、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、
	読める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N101
授業形態	演習
授業の到達目標及び	必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、自己紹介
テーマ	など初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技
	能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くにつ
	いては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書
	けて、読める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、『Basic Japanese(学内版)』1課、『NEJ vol. 1』1課、
	ひらがなの確認
	第 2 週 ~ 第 7 週: 『Basic Japanese(学内版)』2 課 ~ 4 課、『NEJ vol. 1』2 課 ~ 4 課、
	カタカナの確認、中間テスト
	第 8 週 ~ 第 15 週: 『Basic Japanese(学内版)』5 課 ~ 8 課、『NEJ vol. 1』5 課 ~ 8 課、
	期末テスト、プレゼンテーション
履修条件	特別聴講学生 (学類生) に限る。日本語が初めて、あるいは少しだけしか勉強したこ
	とがないこと。ひらがな・カタカナが読めること。
成績評価方法	作文 10%
	RP・スキット等 10%
	ポスタープレゼンテーション $10\%$
	ユニットクイズ 15%
	中間テスト 15%
	期末テスト 40%
授業外における学習方	1 各ユニット開始前にマスターテクストをしっかり予習しておく。
法	2マスターテクストに倣った作文を書く。
	3 各種宿題をする。
教科書	1. <sup>F</sup> NEJ(Elementary Japanese by Theme) vol. 1
() + + +	2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
参考書	1. <sup>©</sup> Situational Functional Japanese: Notes, vol. 1.
受講生に望むこと	予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出するこ
7	と。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 1
Course No.	3901192
Credits	4.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Mon/Tue/Wed/Thu4
Instructor	Cade Conlan Bushnell
Course Overview	初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能に おいては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについて は、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、 読める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確認すること。 N101
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will become able to participate in simple daily communicative activi- ties, such as giving a self introduction, though assistance and scaffolding may be required. In the skill areas of speaking and listening, students will develop the ability understand simple and easy compound sentences, and to produce simple sentences. In the areas of reading and writing, students will become able to un- derstand and produce simple compositions on daily topics, appropriately using Hiragana, Katakana and Kanji.
Schedule	<ul> <li>Week 1: Orientation, "Basic Japanese (in house ed.)" Unit 1, "NEJ vol.1" Unit 1, Hiragana</li> <li>Weeks 2 to 7: "Basic Japanese" Units 2 to 4, "NEJ vol.1" Units 2 to 4, Katakana Midterm Test</li> <li>Weeks 8 to 15: "Basic Japanese" Units 5 to 8, "NEJ vol.1" Units 5 to 8, Fina Test, Presentation</li> <li>1.</li> </ul>
Prerequisites	This class is limited to short-term exchange students (undergrad). Students should have little or no previous Japanese study. Ability to read and write Hiragana/Katakana desirable.
Grading policy	Essays 10% Role plays, skits, etc. 10% Presentation 10% Quizzes 15% Midterm test 15% Final test 40%
Study outside of class	1Preview the Master Text prior to the start of each unit 2Write essays based on the Master Text 3Complete and turn in all homework assignments
Textbook(s)	<ol> <li>Image: The second second</li></ol>
Reference book(s)	1. <sup>F</sup> Situational Functional Japanese: Notes, vol. 1.
Student require- ments	Students are required to actively preview and review all materials, complete and turn in all homework assignments, participate actively in all class activities, and to be cooperative in creating a good environment for joint learning of the Japanese language.

Others	

授業科目名	総合日本語 1
	3901202
	4.0 単位
	1年次
	■ * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
	ブッシュネル ケード コンラン
	おいては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについて
	は、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、
	読める。
	N102
授業形態	演習
授業の到達目標及び	第1週:オリエンテーション、『Basic Japanese(学内版)』1課、『NEJ vol. 1』1課、
テーマ	ひらがなの確認
	第2週~第7週:『Basic Japanese(学内版)』2課~4課、『NEJ vol. 1』2課~4課、
	カタカナの確認、中間テスト
	第 8 週 ~ 第 15 週: 『Basic Japanese(学内版)』5 課 ~ 8 課、『NEJ vol. 1』5 課 ~ 8 課、
	期末テスト、プレゼンテーション
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション、『Basic Japanese(学内版)』1 課、『NEJ vol. 1』1 課、
	ひらがなの確認
	第 2 週 ~ 第 7 週:『Basic Japanese(学内版)』2 課 ~ 4 課、『NEJ vol. 1』2 課 ~ 4 課、
	カタカナの確認、中間テスト
	第 8 週 ~ 第 15 週:『Basic Japanese(学内版)』5 課 ~ 8 課、『NEJ』5 課 ~ 8 課、期末
	テスト、プレゼンテーション
履修条件	特別聴講学生 (学類生) に限る。日本語が初めて、あるいは少しだけしか勉強したこ
	とがないこと。ひらがな・カタカナが読めること。
成績評価方法	作文 10%
	RP・スキット等 10%
	ポスタープレゼンテーション $10\%$
	ユニットクイズ 15%
	中間テスト 15%
	期末テスト 40%
授業外における学習方	1 各ユニット開始前にマスターテクストをしっかり予習しておく。
法	2マスターテクストに倣った作文を書く。
	3 各種宿題をする。
教科書	1. "NEJ(Elementary Japanese by Theme) vol. 1
	2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
参考書	1. <sup>r</sup> Situational Functional Japanese: Notes, vol. 1.
受講生に望むこと	予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出するこ
	と。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 1
Course No.	3901202
Credits	4.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Mon/Tue/Wed/Thu4
Instructor	Cade Conlan Bushnell
Course Overview	初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能に おいては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについて は、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、 読める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確認すること。 N102
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will become able to participate in simple daily communicative activi- ties, such as giving a self introduction, though assistance and scaffolding may be required. In the skill areas of speaking and listening, students will develop the ability understand simple and easy compound sentences, and to produce simple sentences. In the areas of reading and writing, students will become able to un- derstand and produce simple compositions on daily topics, appropriately using Hiragana, Katakana and Kanji.
Schedule	<ul> <li>Week 1: Orientation, "Basic Japanese (in house ed.)" Unit 1, "NEJ vol.1" Unit 1, Hiragana</li> <li>Weeks 2 to 7: "Basic Japanese" Units 2 to 4, "NEJ vol.1" Units 2 to 4, Katakana Midterm Test</li> <li>Weeks 8 to 15: "Basic Japanese" Units 5 to 8, "NEJ vol.1" Units 5 to 8, Final Test, Presentation</li> <li>1.</li> </ul>
Prerequisites	This class is limited to short-term exchange students (undergrad). Students should have little or no previous Japanese study. Ability to read and write Hiragana/Katakana desirable.
Grading policy	Essays 10% Role plays, skits, etc. 10% Presentation 10% Quizzes 15% Midterm test 15% Final test 40%
Study outside of class	1Preview the Master Text prior to the start of each unit 2Write essays based on the Master Text 3Complete and turn in all homework assignments
Textbook(s)	<ol> <li>Image: Image: Ima</li></ol>
Reference book(s)	1. <sup>F</sup> Situational Functional Japanese: Notes, vol. 1.
Student require- ments	Students are required to actively preview and review all materials, complete and turn in all homework assignments, participate actively in all class activities, and to be cooperative in creating a good environment for joint learning of the Japanese language.

Others	

授業科目名	総合日本語 2
科目番号	3901212
単位数	4.0 単位
標準履修年次	1年次
時間割	春 ABC 月・火・水・木 3
担当教員	小野 正樹
授業概要	日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面での
	コミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単
	な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテー
	マについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、
	読める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N201
授業形態	演習
授業の到達目標及び	必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情
テーマ	報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・
	聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。
	読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でや
	や長いまとまりのある文章が書けて、読める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、カタカナの確認、『Basic Japanese(学内版)』9課、『NEJ
	vol. 1』9 課
	第2週~第7週:『Basic Japanese(学内版)』10課~12課、『NEJ vol. 1』7課~12
	課、中間テスト
	第 8 週 ~ 第 15 週: 『Basic Japanese(学内版)』13 課 ~ 16 課、『NEJ vol. 2』13 課 ~
	16課、期末テスト、プレゼンテーション
履修条件	特別聴講学生(学類生)に限る。総合日本語1修了者であること、あるいはそれと同
	等の日本語力があること
成績評価方法	作文 10%
	RP・スキット等 10%
	ポスタープレゼンテーション 10%
	ユニットクイズ 15%
	中間テスト 15%
	期末テスト 40%
授業外における学習方	1 各ユニット開始前にマスターテクストをしっかり予習しておく。
法	2マスターテクストに倣った作文を書く。
	3 各種宿題をする。
教科書	1. <sup>r</sup> NEJ(Elementary Japanese by Theme) vols. 1&2 a
	2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
参考書	1. <sup>®</sup> Situational Functional Japanese: Notes, vol. 2
受講生に望むこと	予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出するこ
	と。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 2
Course No.	3901212
Credits	4.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Mon/Tue/Wed/Thu3
Instructor	Masaki Ono
Course Overview	日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面での コミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単 な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテー マについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、 読める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。 N201
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will develop their abilities to communicate in everyday situations while deepening their understanding of the Japanese language and Japanese culture. In the skill areas of speaking and listening, students will develop the ability to understand complex sentences and simple paragraphs, and to produce complex sentence-level discourse. In the areas of reading and writing, students will become able to read and write longer compositions while appropriately using Hiragana, Katakana and Kanji.
Schedule	<ul> <li>Week 1: Orientation, Katakana check test, "Basic Japanese (in house ed.)" Unit 9, "NEJ vol.1" Unit 9</li> <li>Weeks 2 to 7: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 10 to 12, "NEJ vol.1" Units 7, 8, 10, 11, and 12, Midterm test</li> <li>Weeks 8 to 15: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 13 to 16, "NEJ vol.2" Units 13 to 16, Final test, Presentation</li> <li>1.</li> </ul>
Prerequisites	This class is limited to short-term exchange students (undergrad). Students should have attained the level of N101 or N102 prior to this class.
Grading policy	Essays 10% Role plays, skits, etc. 10% Poster presentation 10% Unit quizzes 15% Midterm test 15% Final test 40%
Study outside of class	1Preview the Master Text prior to the start of each unit2Write essays based on the Master Text3Complete and turn in all homework assignments
Textbook(s)	<ol> <li>Image: NEJ(Elementary Japanese by Theme) vols. 1&amp;2 display=</li> <li>Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)</li> </ol>
Reference book(s)	1. <sup>r</sup> Situational Functional Japanese: Notes, vol. 2 <sub>d</sub>
Student require- ments	Students are required to actively preview and review all materials, complete and turn in all homework assignments, participate actively in all class activities, and to be cooperative in creating a good environment for joint learning of the Japanese language.

Others	

授業科目名	総合日本語 2
科目番号	3901222
単位数	4.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 月・火・水・木 3
担当教員	
授業概要	日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面での
	コミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単
	な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテー
	マについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、
	読める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N202
授業形態	演習
授業の到達目標及び	必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情
テーマ	報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・
	聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。
	読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でや
	や長いまとまりのある文章が書けて、読める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、カタカナの確認、『Basic Japanese(学内版)』9課、『NEJ
	vol. 1』9 課
	第2週~第7週:『Basic Japanese(学内版)』10課~12課、『NEJ vol. 1』7課~12
	課、中間テスト
	第 8 週 ~ 第 15 週:『Basic Japanese(学内版)』13 課 ~ 16 課、『NEJ vol. 2』13 課 ~
	16課、期末テスト、プレゼンテーション
履修条件	特別聴講学生(学類生)に限る。総合日本語1修了者であること、あるいはそれと同
	等の日本語力があること
成績評価方法	作文 10%
	RP・スキット等 10%
	ポスタープレゼンテーション 10%
	ユニットクイズ 15%
	中間テスト 15%
	期末テスト 40%
授業外における学習方	1 各ユニット開始前にマスターテクストをしっかり予習しておく。
法	2マスターテクストに倣った作文を書く。
	3 各種宿題をする。
教科書	1. <sup>r</sup> NEJ(Elementary Japanese by Theme) vols. 1&2 <sup>a</sup>
ム <del>カ カ</del>	2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
参考書	1. <sup>®</sup> Situational Functional Japanese: Notes, vol. 2.
受講生に望むこと	予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出するこ
	と。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 2
Course No.	3901222
Credits	4.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Mon/Tue/Wed/Thu3
Instructor	Masaki Ono
Course Overview	日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面での コミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単 な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテー マについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、 読める。
Remarks	<ul> <li>外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確認すること。</li> <li>N202</li> </ul>
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will develop their abilities to communicate in everyday situations while deepening their understanding of the Japanese language and Japanese culture. In the skill areas of speaking and listening, students will develop the ability to understand complex sentences and simple paragraphs, and to produce complex sentence-level discourse. In the areas of reading and writing, students will become able to read and write longer compositions while appropriately using Hiragana, Katakana and Kanji.
Schedule	<ul> <li>Week 1: Orientation, Katakana check test, "Basic Japanese (in house ed.)" Unit 9, "NEJ vol.1" Unit 9</li> <li>Weeks 2 to 7: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 10 to 12, "NEJ vol.1" Units 7, 8, 10, 11, and 12, Midterm test</li> <li>Weeks 8 to 15: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 13 to 16, "NEJ vol.2" Units 13 to 16, Final test, Presentation</li> <li>1.</li> </ul>
Prerequisites	This class is limited to short-term exchange students (undergrad). Students should have attained the level of N101 or N102 prior to this class.
Grading policy	Essays 10% Role plays, skits, etc. 10% Poster presentation 10% Unit quizzes 15% Midterm test 15% Final test 40%
Study outside of class	1Preview the Master Text prior to the start of each unit         2Write essays based on the Master Text         3Complete and turn in all homework assignments
Textbook(s)	<ol> <li>Image: NEJ(Elementary Japanese by Theme) vols. 1&amp;2 display=</li> <li>Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)</li> </ol>
Reference book(s)	1. <sup>F</sup> Situational Functional Japanese: Notes, vol. 2.
Student require- ments	Students are required to actively preview and review all materials, complete and turn in all homework assignments, participate actively in all class activities, and to be cooperative in creating a good environment for joint learning of the Japanese language.

Others	
授業科目名	総合日本語 3
------------	---
科目番号	3901232
	4.0 単位
	- 「
	日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な場面でのコミュニケーションができ
	るようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、
	複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらが
	な・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N301
授業形態	演習
授業の到達目標及び	必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な
テーマ	場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複
	文や簡単な段落レベルで理解でき、複文や段落で産出ができる。読む・書くについて
	は、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書け
	て、読める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、『Basic Japanese(学内版)』17課、『NEJ vol. 2』17課
	第2週~第7週: 『Basic Japanese(学内版)』18課~20課、『NEJ vol. 2』、中間テ
	スト
	第 8 週 ~ 第 15 週: 『Basic Japanese(学内版)』21 課 ~ 24 課、『NEJ vol. 2』21 課 ~
	24 課、期末テスト、プレゼンテーション
履修条件	特別聴講学生 (学類生) に限る。総合日本語 2 修了者であること、あるいはそれと同
	等の日本語力があること
成績評価方法	作文 10%
	RP・スキット等 10%
	ポスタープレゼンテーション 10%
	ユニットクイズ 15%
	中間テスト 15%
	期末テスト 40%
授業外における学習方	1 各ユニット開始前にマスターテクストをしっかり予習しておく。
法	2マスターテクストに倣った作文を書く。
	3 各種宿題をする。
教科書	1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vol. 2』
	2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
	3. Other (as necessary)
参考書	1. <sup>r</sup> Situational Functional Japanese: Notes, vol. 3.
受講生に望むこと	予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出するこ
	と。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 3
Course No.	3901232
Credits	4.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Mon/Tue/Wed/Thu2
Instructor	Masaki Ono
Course Overview	日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な場面でのコミュニケーションができ るようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、 複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらが な・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。 N301
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will develop their abilities to communicate in everyday situations while deepening their understanding of the Japanese language and Japanese culture. In the skill areas of speaking and listening, students will develop the ability to understand complex sentences and simple paragraphs, and to produce complex sentence-level discourse. In the areas of reading and writing, students will become able to read and write longer compositions while appropriately using Hiragana, Katakana and Kanji.
Schedule	<ul> <li>Week 1: Orientation, Katakana check test, "Basic Japanese (in house ed.)" Unit 17, "NEJ vol. 2" Unit 17</li> <li>Weeks 2 to 7: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 18 to 20, "NEJ vol. 2" Units 18 to 20, Midterm test</li> <li>Weeks 8 to 15: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 21 to 24, "NEJ vol. 2" Units 21 to 24, Final test, Presentation</li> <li>1.</li> </ul>
Prerequisites	This class is limited to short-term exchange students (undergrad). Students should have attained the level of N201 or N202 prior to this class.
Grading policy	Essays 10% Role plays, skits, etc. 10% Poster presentation 10% Unit quizzes 15% Midterm test 15% Final test 40%
Study outside of class	<ol> <li>PNEJ(Elementary Japanese by Theme) vol. 2a</li> <li>Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)</li> <li>Other (as necessary)</li> </ol>
Textbook(s)	<ol> <li>PNEJ(Elementary Japanese by Theme) vol. 2a</li> <li>Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)</li> <li>Other (as necessary)</li> </ol>
Reference book(s)	1. <sup>F</sup> Situational Functional Japanese: Notes, vol. 3.
Student require- ments	Students are required to actively preview and review all materials, complete and turn in all homework assignments, participate actively in all class activities, and to be cooperative in creating a good environment for joint learning of the Japanese language.

Others	

授業科目名	総合日本語 3
科目番号	3901242
	4.0 単位
	1年次
	■ 1 K 秋 ABC 月・火・水・木 2
	日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な場面でのコミュニケーションができ
	るようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、
	複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらが
	な・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。
	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確
	N302
授業形態	演習
	//2日 必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な
2年の10月1日 信次0	場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複
	文や簡単な段落レベルで理解でき、複文や段落で産出ができる。読む・書くについて
	は、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書け
	ない、気気なり、くにういて、ひらかな、ガラガラ、成百漢子でやや後継な文章が首うて、読める。
授業の概要・計画	(、 m) の 。 第1週:オリエンテーション、『Basic Japanese(学内版)』17課、『NEJ vol. 2』17課
12来07城安 而四	第1週.7 9 エンテーション、 Dasic sapanese(デア新族)』17 読、 THES VOI. 2』17 読 第2週~第7週: 『Basic Japanese(学内版)』18 課~20 課、『NEJ vol. 2』、中間テ
	^     第 8 週~第 15 週:『Basic Japanese(学内版)』21 課~24 課、『NEJ vol. 2』21 課~
	24 課、期末テスト、プレゼンテーション
履修条件	23 (M、新木) スト、クレビンテークコン 特別聴講学生 (学類生) に限る。総合日本語 2 修了者であること、あるいはそれと同
他的	等の日本語力があること
成績評価方法	(中立)10%
	RP・スキット等 10%
	ポスタープレゼンテーション 10%
	ユニットクイズ 15%
	ユニットットス 15%    中間テスト 15%
	期末テスト 40%
授業外における学習方	1 各ユニット開始前にマスターテクストをしっかり予習しておく。
法	2マスターテクストに倣った作文を書く。
74	- 3 各種宿題をする。
教科書	1. <sup>r</sup> NEJ(Elementary Japanese by Theme) vol. 2
	2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
	3. Other (as necessary)
	1. <sup>r</sup> Situational Functional Japanese: Notes, vol. 3 <sub>1</sub>
<u>ッちゅ</u> 受講生に望むこと	
	う自 <sup>い</sup> 後自を必ずすること。 伯超 <sup>い</sup> 読超を絶対に許め切りまてに完成させ提出すること。 と。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 3
Course No.	3901242
Credits	4.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Mon/Tue/Wed/Thu2
Instructor	Masaki Ono
Course Overview	日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な場面でのコミュニケーションができ るようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、 複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらが な・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。
Remarks	<ul> <li>外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確認すること。</li> <li>N302</li> </ul>
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will develop their abilities to communicate in everyday situations while deepening their understanding of the Japanese language and Japanese culture. In the skill areas of speaking and listening, students will develop the ability to understand complex sentences and simple paragraphs, and to produce complex sentence-level discourse. In the areas of reading and writing, students will become able to read and write longer compositions while appropriately using Hiragana, Katakana and Kanji.
Schedule	<ul> <li>Week 1: Orientation, Katakana check test, "Basic Japanese (in house ed.)" Unit 17, "NEJ vol. 2" Unit 17</li> <li>Weeks 2 to 7: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 18 to 20, "NEJ vol. 2" Units 18 to 20, Midterm test</li> <li>Weeks 8 to 15: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 21 to 24, "NEJ vol. 2" Units 21 to 24, Final test, Presentation</li> <li>1.</li> </ul>
Prerequisites	This class is limited to short-term exchange students (undergrad). Students should have attained the level of N201 or N202 prior to this class.
Grading policy	Essays 10% Role plays, skits, etc. 10% Poster presentation 10% Unit quizzes 15% Midterm test 15% Final test 40%
Study outside of class	1Preview the Master Text prior to the start of each unit2Write essays based on the Master Text3Complete and turn in all homework assignments
Textbook(s)	<ol> <li>Image: The second second</li></ol>
Reference book(s)	1. <sup>g</sup> Situational Functional Japanese: Notes, vol. 3.
Student require- ments	Students are required to actively preview and review all materials, complete and turn in all homework assignments, participate actively in all class activities, and to be cooperative in creating a good environment for joint learning of the Japanese language.

Others	

授業科目名	総合日本語 4 演習
	3901252
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1年次
時間割	春 ABC 木 4
担当教員	
授業概要	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
	本語運用力を高める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N481
授業形態	演習
授業の到達目標及び	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
テーマ	本語運用力を高める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、第 $2^{\sim}11$ 週 教室外で出会った言葉についての紹介・日
	本人にインタビューし、結果をクラスで共有する・調べたことについてレポートにま
	とめる・テーマに沿ってディスカッションする 第 12 週~15 週 発表と質疑応答、まと
	め、振り返り
履修条件	総合日本語 4 レベル
成績評価方法	文章表現課題 30%
	口頭表現課題 30%
	テスト 30%
	平常点 10%
授業外における学習方	必要な情報収集のための準備
法	
教科書	1. Chuukyuu Nihon koe chousen! Speech & Discussion (Bonjinsha, 2012)
	2. Handouts
受講生に望むこと	1)課題は必ず期日内に提出すること
	2) 授業には必ず辞書を持ってくること
	3) 他の学生との協働作業に積極的に取り組むこと
	4) 授業外でも積極的に日本語を使ってほしい。
その他	場合によって、筑波 e-learning を使う。 受講生の人数によって一部授業内容を変更
	することがある。
i	

Course	Comprehensive Japanese 4 Seminar
Course No.	3901252
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Thu4
Instructor	Makiko Kobayashi
Course Overview	・ 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
	本語運用力を高める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N481
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to develop skills and Japanese proficiency necessary for
	attending college classes and strenghthen their overall Japanese abilities.
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 11: Activities include introducing words learned outside of the class-
	room, interviewing a Japanese and sharing the results in class, creating a report
	based on one's research, and discussions on assigned themes
	Weeks 12 to 15: Oral presentation with Q&A, Wrap-up and reflection
	1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 4
Grading policy	Written assignment 30%
	Oral presentation $30\%$
	Tests 30%
	Attendance and participation $10\%$
Study outside of class	Students must prepare and gather necessary information for class activities.
Textbook(s)	1. Chuukyuu Nihon koe chousen! Speech & Discussion (Bonjinsha, 2012)
	2. Handouts
Reference book(s)	
Student require-	1) Promptly submit assignments by the deadline.
ments	2) Always bring a dictionary to class.
	3) Be actively involved and contribute during group work with other students.
	4) Use Japanese outside of the classroom as much as you can.
Others	The Tsukuba e-learning tools will be used in class on occasion.
	* Class content may be adjusted according to the number of students enrolled.

授業科目名	総合日本語 4 演習
科目番号	3901262
	1.0 単位
	·
標準履修年次	
時間割	秋 ABC 木 4
授業概要	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
	本語運用力を高める。 
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N482
授業形態	演習
授業の到達目標及び	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
テーマ	本語運用力を高める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、第 $2^{\sim}11$ 週 教室外で出会った言葉についての紹介・日
	本人にインタビューし、結果をクラスで共有する・調べたことについてレポートにま
	とめる・テーマに沿ってディスカッションする 第 12 週~15 週 発表と質疑応答、まと
	め、振り返り
履修条件	総合日本語 4 レベル
成績評価方法	文章表現課題 30%
	口頭表現課題 30%
	テスト 30%
	平常点 10%
授業外における学習方	必要な情報収集のための準備
法	
	1. Chuukyuu Nihon koe chousen! Speech & Discussion (Bonjinsha, 2012)
	2. Handouts
参考書	
受講生に望むこと	<ol> <li>1)課題は必ず期日内に提出すること</li> </ol>
	2) 授業には必ず辞書を持ってくること
	3) 他の学生との協働作業に積極的に取り組むこと
	4) 授業外でも積極的に日本語を使ってほしい。
その他	場合によって、筑波 e-learning を使う。 受講生の人数によって一部授業内容を変更
	することがある。

Course	Comprehensive Japanese 4 Seminar
Course No.	3901262
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Thu4
Instructor	Makiko Kobayashi
Course Overview	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
Course Overview	大手の設定を支援するにのたり必要な日本語力のよび大手がを身につけ、主成的な日本語運用力を高める。
Remarks	外間運用がを高める。 外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
Remarks	が国人国子王のうち行加幅調子王(子研)が支調とさる。計細は国子王ピンラーに唯 認すること。
	N482
Course Ture	N462 class exercises
Course Type	
Objective(s)	Students will be able to develop skills and Japanese proficiency necessary for
	attending college classes and strenghthen their overall Japanese abilities.
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 11: Activities include introducing words learned outside of the class-
	room, interviewing a Japanese and sharing the results in class, creating a report
	based on one's research, and discussions on assigned themes
	Weeks 12 to 15: Oral presentation with Q&A, Wrap-up and reflection
	1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 4.
Grading policy	Written assignment $30\%$
	Oral presentation $30\%$
	Tests 30%
	Attendance and participation $10\%$
Study outside of class	Students must prepare and gather necessary information for class activities.
Textbook(s)	1. Chuukyuu Nihon koe chousen! Speech & Discussion (Bonjinsha, 2012)
	2. Handouts
Reference $book(s)$	
Student require-	1) Promptly submit assignments by the deadline.
ments	2) Always bring a dictionary to class.
	3) Be actively involved and contribute during group work with other students.
	4) Use Japanese outside of the classroom as much as you can.
Others	The Tsukuba e-learning tools will be used in class on occasion.
	* Class content may be adjusted according to the number of students enrolled.

授業科目名	総合日本語5演習
	3901272
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 木 3
担当教員	鄭 聖美
授業概要	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
	本語運用力を高める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N581
授業形態	演習
授業の到達目標及び	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
テーマ	本語運用力を高める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。
	うち1回テストあり。
	初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
履修条件	総合日本語 5 レベル
成績評価方法	<b>文章表現課題</b> 40%
	口頭表現課題 40%
	平常点 20%
授業外における学習方	必要な情報収集を行う。
法	
教科書	新学期に購入する。初回授業で教科書名を指示する。
参考書	必要時に紹介する。
受講生に望むこと	1)課題は必ず期日内に提出すること
	2) 授業には必ず辞書を持ってくること
	3) 他の学生との共同作業に積極的に貢献すること
	4) 授業外でも積極的に日本語を使うこと
その他	manaba や SNS を使用する
	受講生の人数によって一部授業内容を変更することがある。

Course	Comprehensive Japanese 5 Seminar
Course No.	3901272
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Thu3
Instructor	Sonmi Jung
Course Overview	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
	本語運用力を高める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N581
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to develop skills and Japanese proficiency necessary for
	attending college classes and strenghthen their overall Japanese abilities.
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class
	* A test will be given once within the semester.
	* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.
	1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 5.
Grading policy	Written assignment $40\%$
	Oral presentation $40\%$
	Attendance and participation $20\%$
Study outside of class	Students must prepare and gather necessary information for class activities.
Textbook(s)	To be purchased at the start of the semester.
	The textbook will be announced on the first day of classes.
Reference book(s)	Will be introduced in class as necessary.
Student require-	1) Promptly submit assignments by the deadline.
ments	2) Always bring a dictionary to class.
	3) Be actively involved and contribute during group work with other students.
	4) Use Japanese outside of the classroom as much as you can.
Others	The Tsukuba online learning tool, manaba, and SNS will be used in class.
	* Class content may be adjusted according to the number of students enrolled.

授業科目名	総合日本語5演習
	3901282
 単位数	1.0 単位
標準履修年次	1年次
	秋 ABC 木 2
担当教員	林 淳子
	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
	本語運用力を高める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N582
授業形態	演習
授業の到達目標及び	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
テーマ	本語運用力を高める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。
	うち1回テストあり。
	初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
履修条件	総合日本語 5 レベル
成績評価方法	文章表現課題 30%
	口頭表現課題 30%
	テスト 30%
	平常点 10%
授業外における学習方	必要な情報収集を行う。
法	
教科書	新学期に購入する。初回授業で教科書名を指示する。
参考書	必要時に紹介する。
受講生に望むこと	1)課題は必ず期日内に提出すること
	2) 授業には必ず辞書を持ってくること
	3) 他の学生との共同作業に積極的に貢献すること
	4) 授業外でも積極的に日本語を使うこと
その他	manaba や SNS を使用する
	受講生の人数によって一部授業内容を変更することがある。

Course	Comprehensive Japanese 5 Seminar
Course No.	3901282
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Thu2
Instructor	Junko Hayashi
Course Overview	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
	本語運用力を高める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N582
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to develop skills and Japanese proficiency necessary for
	attending college classes and strenghthen their overall Japanese abilities.
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class
	* A test will be given once within the semester.
	* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.
	1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 5.
Grading policy	Written assignment 40%
	Oral presentation $40\%$
	Attendance and participation $20\%$
Study outside of class	Students must prepare and gather necessary information for class activities.
Textbook(s)	To be purchased at the start of the semester.
	The textbook will be announced on the first day of classes.
Reference book(s)	Will be introduced in class as necessary.
Student require-	1) Promptly submit assignments by the deadline.
ments	2) Always bring a dictionary to class.
	3) Be actively involved and contribute during group work with other students.
	4) Use Japanese outside of the classroom as much as you can.
Others	The Tsukuba online learning tool, manaba, and SNS will be used in class.
	* Class content may be adjusted according to the number of students enrolled.

授業科目名	総合日本語 6 文法
科目番号	3901292
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 月 2
担当教員	木戸 光子
授業概要	中級後半~上級レベルの文法を学び、使えるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N611
授業形態	演習
授業の到達目標及び	中級後半レベルの文法項目をマスターし、日本語での作文および読解などが正確にで
テーマ	きるようになる。
授業の概要・計画	第1週 オリエンテーション・レベルチェック、第2~14週 作文や読解など運用に必
	要な文法の学習、第15週まとめ。第8週中間テスト、第15週期末テスト。
履修条件	総合日本語 5 レベルが終わったぐらいの日本語力があること。5 レベル終わったぐら
	いの文法の知識と運用力があること。
成績評価方法	授業参加度 20%、宿題 20%、中間テスト・期末テスト 60%
授業外における学習方	宿題 (学習した文章、文法の復習)
法	
教科書	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio)[Tentative]
参考書	授業内で紹介する。
受講生に望むこと	授業で学習したことをよく復習して、宿題・課題を必ず提出すること。
その他	受講者のレベルに合わせ、授業を柔軟に行う。宿題提出は manaba で行う。

Course	Comprehensive Japanese 6 Grammar
Course No.	3901292
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Mon2
Instructor	Mitsuko Kido
Course Overview	中級後半~上級レベルの文法を学び、使えるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N611
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to write compositions and read with a mastery of upper
	intermediate level grammar items.
Schedule	Week 1:Orientation/Level check
	Weeks 2 to 14:Study of essential grammar for composition-writing and reading
	comprehension
	Week 15: Wrap-up
	(Midterm test in Week 8 and Final test in Week 15)
	1.
Prerequisites	Students should have completed Comprehensive Japanese 5 or possess an equiv-
	alent level of grammar knowledge.
Grading policy	Class participation 20%, Homework 20%, Midterm/Final test $60\%$
Study outside of class	Homework (Studied text, grammar practice)
Textbook(s)	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio)[Tentative]
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student require-	Review past lessons and promptly hand in homework.
ments	
Others	Lessons will be conducted appropriate to the students' level.
	Submission of homework will be done through the Tsukuba online learning tool,
	manaba.

授業科目名	総合日本語 6 文法
科目番号	3901302
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1年次
時間割	秋 ABC 月 2
担当教員	木戸 光子
授業概要	中級後半~上級レベルの文法を学び、使えるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N612
授業形態	演習
授業の到達目標及び	中級後半レベルの文法項目をマスターし、日本語での作文および読解などが正確にで
テーマ	きるようになる。
授業の概要・計画	第1週 オリエンテーション・レベルチェック、第 $2^{\sim}14$ 週 作文や読解など運用に必
	要な文法の学習、第15週まとめ。第8週中間テスト、第15週期末テスト。
	第1回
履修条件	総合日本語 5 レベルが終わったぐらいの日本語力があること。5 レベル終わったぐら
	いの文法の知識と運用力があること。
成績評価方法	授業参加度 20%、宿題 20%、中間テスト・期末テスト 60%
授業外における学習方	宿題 (学習した文章、文法の復習)
法	
教科書	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kuroshio)[Tentative]
参考書	授業内で紹介する。
受講生に望むこと	授業で学習したことをよく復習して、宿題・課題を必ず提出すること。
その他	受講者のレベルに合わせ、授業を柔軟に行う。宿題提出は manaba で行う。

Course	Comprehensive Japanese 6 Grammar
Course No.	3901302
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Mon2
Instructor	Mitsuko Kido
Course Overview	中級後半~上級レベルの文法を学び、使えるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N612
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to write compositions and read with a mastery of upper
	intermediate level grammar items.
Schedule	Week 1:Orientation/Level check
	Weeks 2 to 14:Study of essential grammar for composition-writing and reading
	comprehension
	Week 15: Wrap-up
	(Midterm test in Week 8 and Final test in Week 15)
	1.
Prerequisites	Students should have completed Comprehensive Japanese 5 or possess an equiv-
	alent level of grammar knowledge.
Grading policy	Class participation 20%, Homework 20%, Midterm/Final test 60%
Study outside of class	Homework (Studied text, grammar practice)
Textbook(s)	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kuroshio)[Tentative]
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student require-	Review past lessons and promptly hand in homework.
ments	
Others	Lessons will be conducted appropriate to the students' level.
	Submission of homework will be done through the Tsukuba online learning tool, manaba.

授業科目名	総合日本語6話す聞く
科目番号	3901312
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 火 2
担当教員	田中 裕祐
授業概要	・場面、相手に合った適切なスタイルで話すことができる。 ・日常的で身近な話題か
	ら最終的には抽象的な話題において聞き手を意識したディスカッションができる。・
	必要な情報を正確に聞き取りとることができる。また、推測を加えて話しの流れが理
	解できる。 ・身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたこと
	を的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N661
授業形態	演習
授業の到達目標及び	・場面、相手に合った適切なスタイルで話すことができる。
テーマ	・日常的で身近な話題から最終的には抽象的な話題において聞き手を意識したディス
	カッションができる。
	・必要な情報を正確に聞き取りとることができる。また、推測を加えて話しの流れが
	理解できる。
	・身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたことを的確に口
	頭で伝え、自分の意見を話すことができる。。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション第2 <sup>~5</sup> 週:スケジュールに基づき授業を行う。
	初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
履修条件	総合日本語 5 を終わったレベル
成績評価方法	テスト $50\%$ 、課題、提出物 $30\%$ 積極的な参加 $20\%$
	(ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方	宿題
法	
教科書	1. Handouts
参考書	必要時に紹介する
受講生に望むこと	積極的に、自主的に準備、課題に取り組んでほしい。教室の外でも積極的に日本語を
	使ってほしい。授業以外にも積極的にテレビやラジオを聞く努力をしてほしい。
その他	受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、練習やタスクと課題を変えながら柔軟に
	対応していく。毎回プリントを配布するので、受講者はファイルをしておくこと。

Course	Comprehensive Japanese 6 Speaking and Listening
Course No.	3901312
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Tue2
Instructor	Yusuke Tanaka
Course Overview	・場面、相手に合った適切なスタイルで話すことができる。 ・日常的で身近な話題か
	ら最終的には抽象的な話題において聞き手を意識したディスカッションができる。・
	必要な情報を正確に聞き取りとることができる。また、推測を加えて話しの流れが理
	解できる。・身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたこと
	を的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N661
Course Type	class exercises
Objective(s)	• Students can speak using appropriate styles according to the situation and the
	person they are speaking to.
	• They can engage in discussion about topics from everyday, familiar things to
	abstract ideas while aware of the person they are speaking to.
	• They can accurately pick up necessary information. They can also understand
	the flow of conversation and make inferences.
	• They can listen and understand either familiar or relatively specialized topics
	and share their thoughts and give their opinion about these.
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class
	* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.
	1.
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 5.
Grading policy	Tests 50%, Assignments and submitted work 30%, Class participation 20%
	(Attendance rate of $70\%$ or higher is required)
Study outside of class	Homework
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	To be introduced as necessary.
Student require-	Students are expected to be active and independently prepare to handle tasks.
ments	They are also expected to use Japanese as much as they can outside of the
	classroom and make an effort to watch TV and listen to the radio on their own.
Others	The class will be flexible according to the students' level and needs and changes
	will be made to exercises, tasks, and assignments as necessary. Handouts will be
	given each meeting so students should prepare a folder for these.

授業科目名	総合日本語 6 話す聞く
科目番号	3901322
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 火 2
担当教員	三谷 絵里
授業概要	・場面、相手に合った適切なスタイルで話すことができる。 ・日常的で身近な話題か
	ら最終的には抽象的な話題において聞き手を意識したディスカッションができる。 ・
	必要な情報を正確に聞き取りとることができる。また、推測を加えて話しの流れが理
	解できる。 ・身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたこと
	を的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N662
授業形態	演習
授業の到達目標及び	・場面、相手に合った適切なスタイルで話すことができる。
テーマ	・日常的で身近な話題から最終的には抽象的な話題において聞き手を意識したディス
	カッションができる。
	・必要な情報を正確に聞き取りとることができる。また、推測を加えて話しの流れが
	理解できる。
	・身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたことを的確に口
	頭で伝え、自分の意見を話すことができる。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション第2~5週:スケジュールに基づき授業を行う。
	初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
履修条件	総合日本語 5 を終わったレベル
成績評価方法	テスト 50%、課題、提出物 30% 積極的な参加 20%
	(ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方	宿題
法	
教科書	1. Handouts
参考書	必要時に紹介する
受講生に望むこと	積極的に、自主的に準備、課題に取り組んでほしい。教室の外でも積極的に日本語を
	使ってほしい。授業以外にも積極的にテレビやラジオを聞く努力をしてほしい。
その他	受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、練習やタスクと課題を変えながら柔軟に
	対応していく。毎回プリントを配布するので、受講者はファイルをしておくこと。

Course	Comprehensive Japanese 6 Speaking and Listening
Course No.	3901322
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Tue2
Instructor	Eri Mitani
Course Overview	・場面、相手に合った適切なスタイルで話すことができる。 ・日常的で身近な話題か ら最終的には抽象的な話題において聞き手を意識したディスカッションができる。 ・
	必要な情報を正確に聞き取りとることができる。また、推測を加えて話しの流れが理
	解できる。 ・身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたこと
	を的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
Remarks	
	N662
С	class exercises
Course Type	
Objective(s)	• Students can speak using appropriate styles according to the situation and the person they are speaking to.
	• They can engage in discussion about topics from everyday, familiar things to
	abstract ideas while aware of the person they are speaking to.
	• They can accurately pick up necessary information. They can also understand
	the flow of conversation and make inferences.
	• They can listen and understand either familiar or relatively specialized topics
	and share their thoughts and give their opinion about these.
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class
	* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.
	1.
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 5.
Grading policy	Tests 50%, Assignments and submitted work 30%, Class participation 20%
	(Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Homework
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	To be introduced as necessary.
Student require-	Students are expected to be active and independently prepare to handle tasks.
ments	They are also expected to use Japanese as much as they can outside of the
	classroom and make an effort to watch TV and listen to the radio on their own.
Others	The class will be flexible according to the students' level and needs and changes
	will be made to exercises, tasks, and assignments as necessary. Handouts will be
	- The second of the second state and the second sec

授業科目名	総合日本語 6 読む書く
科目番号	3901332
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 水 2
担当教員	長戸 三成子
授業概要	・文章の内容を正しく理解する。 ・読んだものについて、理解、考えを深める。 ・
	読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えるこ
	とができる。 ・語彙・表現・文法・文型を学び、使えるようになる。 ・自分の読み
	方を振り返る。 ・読むこと、書くことを楽しめるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N671
授業形態	演習
授業の到達目標及び	・新聞記事、エッセイ、物語などの文章の内容を正しく理解できる。
テーマ	・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に伝えることができる。
	・書くために必要な語彙・表現・文型を学び、使えるようになる。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、レベルチェック第 $2^{\sim}14$ 週:読解と内容理解質問、書く
	ための語彙・表現・文型の練習、作文練習 第 15 週:期末テスト (筆記テストと作文
履修条件	社会的なテーマに関する文章を読んで理解できる程度の読解力と、それを表現できる
	作文力と漢字・語彙力が必要。日本語能力検定 N2 レベル程度。
成績評価方法	課題作文 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%
授業外における学習方	読み物についての理解を深めるため、各自で背景知識について情報収集することが望
法	ましい。
教科書	1. Handouts to be distributed in class
参考書	なし
受講生に望むこと	課題作文は宿題として出されるので、必ず提出するようにしてほしい。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 6 Reading and Writing
Course No.	3901332
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Wed2
Instructor	Minako Nagato
Course Overview	<ul> <li>・文章の内容を正しく理解する。</li> <li>・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。</li> <li>・語彙・表現・文法・文型を学び、使えるようになる。</li> <li>・自分の読み方を振り返る。</li> <li>・読むこと、書くことを楽しめるようになる。</li> </ul>
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。 N671
Course Type	class exercises
Objective(s)	<ul> <li>Students will be able to:</li> <li>correctly understand the content of readings such as news articles, essays, narratives, etc.</li> <li>appropriately express both orally and in writing what they understood and thought about the reading</li> <li>learn and use vocabulary, expressions, grammar, and sentence patterns for writing purposes</li> </ul>
Schedule	<ul> <li>Week 1: Orientation/Level check</li> <li>Weeks 2 to 14: Reading comprehension and content questions; exercises on vocabulary, expressions, and sentence patterns for writing purposes; composition writing practice</li> <li>Week 15: Final test (Written test and composition writing)</li> <li>1.</li> </ul>
Prerequisites	Students are required to possess reading comprehension skills that allows them to understand material with social themes, and have writing skills and knowledge of kanji and vocabulary to be able to write about these. Students' level must be equivalent to the Japanese-Language Proficiency Test Level N2.
Grading policy	Compositions $30\%$ , Midterm test $30\%$ , Final test $40\%$
Study outside of class	Students are advised to gather background information on the readings on their own in order to deepen their understanding of the reading, .
Textbook(s)	1. Handouts to be distributed in class
Reference book(s)	
Student require- ments	Compositions are assigned as homework and must be submitted accordingly.
Others	

授業科目名	総合日本語 6 読む書く
科目番号	3901342
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 水 2
担当教員	長戸 三成子
授業概要	・文章の内容を正しく理解する。 ・読んだものについて、理解、考えを深める。 ・
	読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えるこ
	とができる。 ・語彙・表現・文法・文型を学び、使えるようになる。 ・自分の読み
	方を振り返る。 ・読むこと、書くことを楽しめるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N672
授業形態	演習
授業の到達目標及び	・新聞記事、エッセイ、物語などの文章の内容を正しく理解できる。
テーマ	・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に伝えることができる。
	・書くために必要な語彙・表現・文型を学び、使えるようになる。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、レベルチェック第 $2^{\sim}14$ 週:読解と内容理解質問、書く
	ための語彙・表現・文型の練習、作文練習 第 15 週:期末テスト (筆記テストと作文)
履修条件	社会的なテーマに関する文章を読んで理解できる程度の読解力と、それを表現できる
	作文力と漢字・語彙力が必要。日本語能力検定 N2 レベル程度。
成績評価方法	課題作文 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%
授業外における学習方	読み物についての理解を深めるため、各自で背景知識について情報収集することが望
法	ましい。
教科書	1. Handouts to be distributed in class
参考書	なし
受講生に望むこと	課題作文は宿題として出されるので、必ず提出するようにしてほしい。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 6 Reading and Writing
Course No.	3901342
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Wed2
Instructor	Minako Nagato
Course Overview	・文章の内容を正しく理解する。 ・読んだものについて、理解、考えを深める。 ・
	読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えるこ
	とができる。 ・語彙・表現・文法・文型を学び、使えるようになる。 ・自分の読み
	方を振り返る。 ・読むこと、書くことを楽しめるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N672
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to:
	• correctly understand the content of readings such as news articles, essays,
	narratives, etc.
	• appropriately express both orally and in writing what they understood and
	thought about the reading
	• learn and use vocabulary, expressions, grammar, and sentence patterns for
	writing purposes
Schedule	Week 1: Orientation/Level check
	Weeks 2 to 14: Reading comprehension and content questions; exercises on vo-
	cabulary, expressions, and sentence patterns for writing purposes; composition
	writing practice
	Week 15: Final test (Written test and composition writing)
	1.
Prerequisites	Students are required to possess reading comprehension skills that allows them
	to understand material with social themes, and have writing skills and knowledge
	of kanji and vocabulary to be able to write about these.
	Students' level must be equivalent to the Japanese-Language Proficiency Test
	Level N2.
Grading policy	Compositions 30%, Midterm test 30%, Final test 40%
Study outside of class	Students are advised to gather background information on the readings on their
	own in order to deepen their understanding of the reading, .
Textbook(s)	1. Handouts to be distributed in class
Reference book(s)	
Student require-	Compositions are assigned as homework and must be submitted accordingly.
ments	
Others	

[	
授業科目名	総合日本語 6 演習
科目番号	3901352
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1年次
時間割	春 ABC 木 2
担当教員	鄭 聖美
授業概要	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
	本語運用力を高める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N681
授業形態	演習
授業の到達目標及び	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
テーマ	本語運用力を高める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。
	うち1回テストあり。
	初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
履修条件	総合日本語 6 レベル
成績評価方法	<b>文章表現課題</b> 40%
	口頭表現課題 40%
	平常点 20%
授業外における学習方	必要な情報収集を行う。
法	
教科書	新学期に購入する。初回授業で教科書名を指示する。
参考書	必要時に紹介する。
受講生に望むこと	1)課題は必ず期日内に提出すること
	2)授業には必ず辞書を持ってくること
	3) 他の学生との共同作業に積極的に貢献すること
	4) 授業外でも積極的に日本語を使うこと
その他	manaba や SNS を使用する
	受講生の人数によって一部授業内容を変更することがある。

Course	Comprehensive Japanese 6 Seminar
Course No.	3901352
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Thu2
Instructor	Sonmi Jung
Course Overview	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
	本語運用力を高める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N681
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to develop skills and Japanese proficiency necessary for
	attending college classes and strengthen their overall Japanese abilities.
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class
	* A test will be given once within the semester.
	* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.
	1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 6.
Grading policy	Written assignment 40%
	Oral presentation $40\%$
	Attendance and participation $20\%$
Study outside of class	Students must prepare and gather necessary information for class activities.
Textbook(s)	To be purchased at the start of the semester.
	The textbook will be announced on the first day of classes.
Reference book(s)	Will be introduced in class as necessary.
Student require-	1) Promptly submit assignments by the deadline.
ments	2) Always bring a dictionary to class.
	3) Be actively involved and contribute during group work with other students.
	4) Use Japanese outside of the classroom as much as you can.
Others	The Tsukuba online learning tool, manaba, and SNS will be used in class.
	* Class content may be adjusted according to the number of students enrolled.

授業科目名	総合日本語 6 演習
科目番号	3901362
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 木 2
担当教員	和氣 圭子
授業概要	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
	本語運用力を高める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N682
授業形態	演習
授業の到達目標及び	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
テーマ	本語運用力を高める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。
	うち1回テストあり。
	初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
履修条件	総合日本語 6 レベル
成績評価方法	文章表現課題 30%
	口頭表現課題 30%
	テスト 30%
	平常点 10%
授業外における学習方	必要な情報収集を行う。
法	
教科書	新学期に購入する。初回授業で教科書名を指示する。
参考書	必要時に紹介する。
受講生に望むこと	1)課題は必ず期日内に提出すること
	2) 授業には必ず辞書を持ってくること
	3)他の学生との共同作業に積極的に貢献すること
	4) 授業外でも積極的に日本語を使うこと
その他	manaba や SNS を使用する
	受講生の人数によって一部授業内容を変更することがある。

Course	Comprehensive Japanese 6 Seminar
Course No.	3901362
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Thu2
Instructor	Keiko Waki
Course Overview	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
	本語運用力を高める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N682
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to develop skills and Japanese proficiency necessary for
	attending college classes and strengthen their overall Japanese abilities.
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class
	* A test will be given once within the semester.
	* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.
	1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 6.
Grading policy	Written assignment 40%
	Oral presentation $40\%$
	Attendance and participation $20\%$
Study outside of class	Students must prepare and gather necessary information for class activities.
Textbook(s)	To be purchased at the start of the semester.
	The textbook will be announced on the first day of classes.
Reference $book(s)$	Will be introduced in class as necessary.
Student require-	1) Promptly submit assignments by the deadline.
ments	2) Always bring a dictionary to class.
	3) Be actively involved and contribute during group work with other students.
	4) Use Japanese outside of the classroom as much as you can.
Others	The Tsukuba online learning tool, manaba, and SNS will be used in class.
	* Class content may be adjusted according to the number of students enrolled.

授業科目名	総合日本語 7 文法
科目番号	3901372
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1年次
時間割	春 ABC 月 1
担当教員	小池 康
授業概要	日本語のミステリー小説を題材に、小説に使われている文法や文型を通して、文法の
	意味用法を自ら学ぶ力を養う。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N711
授業形態	演習
授業の到達目標及び	中級レベルまでの文法項目を確実にマスターし、日本語での作文および読解が正確に
テーマ	できるようになる。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション・レベルチェック、第2 <sup>~</sup> 14週:テキストの第9課 <sup>~</sup> 第12
	課の文法項目の学習および練習問題 (ただし第 8 週は中間試験)、第 15 週:期末試験
	第1回
履修条件	プレースメントテストで総合日本語7レベルに認定されていること。
成績評価方法	期末試験 $40\%$ 、中間試験 $30\%$ 、宿題実施 $25\%$ 、出席・受講態度 $5\%$
授業外における学習方	教科書と練習問題プリントの予習・復習
法	
教科書	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio, $3300 \text{ yen} + \text{tax}$ )
参考書	授業内で紹介する。
受講生に望むこと	積極的に自習をすること。
その他	プレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けること。

Course	Comprehensive Japanese 7 Grammar
Course No.	3901372
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Mon1
Instructor	Yasushi Koike
Course Overview	日本語のミステリー小説を題材に、小説に使われている文法や文型を通して、文法の
	意味用法を自ら学ぶ力を養う。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N711
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to write compositions and read with a mastery of interme-
	diate level grammar items.
Schedule	Week 1:Orientation/Level check
	Weeks 2 to 14:Study of grammar items and practice problems based on Chapters
	9-12 (Note: A midterm test is scheduled for Week 8)
	Week 15: Final test
	1.
Prerequisites	Students should have been placed at Level N700 according to the placement test.
Grading policy	Final test 40%, Midterm test 30%, Homework 25%, Attendance and participation
	5%
Study outside of class	Preview and review of textbook and practice problem handouts
Textbook(s)	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio, 3300 yen $+$ tax)
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student require-	Students are expected to be active learners.
ments	
Others	Students must have been placed in this level according to the placement test.

授業科目名	総合日本語 7 文法
科目番号	3901382
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1年次
時間割	秋 ABC 月 1
担当教員	小池 康
授業概要	日本語のミステリー小説を題材に、小説に使われている文法や文型を通して、文法の
	意味用法を自ら学ぶ力を養う。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N712
授業形態	演習
授業の到達目標及び	中級レベルまでの文法項目を確実にマスターし、日本語での作文および読解が正確に
テーマ	できるようになる。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション・レベルチェック、第2 <sup>~</sup> 14週:テキストの第9課 <sup>~</sup> 第12
	課の文法項目の学習および練習問題 (ただし第 8 週は中間試験)、第 15 週:期末試験
	第1回
履修条件	プレースメントテストで総合日本語7レベルに認定されていること。
成績評価方法	期末試験 $40\%$ 、中間試験 $30\%$ 、宿題実施 $25\%$ 、出席・受講態度 $5\%$
授業外における学習方	教科書と練習問題プリントの予習・復習
法	
教科書	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio, $3300 \text{ yen} + \text{tax}$ )
参考書	授業内で紹介する。
受講生に望むこと	積極的に自習をすること。
その他	プレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けること。

Course	Comprehensive Japanese 7 Grammar
Course No.	3901382
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Mon1
Instructor	Yasushi Koike
Course Overview	日本語のミステリー小説を題材に、小説に使われている文法や文型を通して、文法の
	意味用法を自ら学ぶ力を養う。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N712
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to write compositions and read with a mastery of interme-
	diate level grammar items.
Schedule	Week 1:Orientation/Level check
	Weeks 2 to 14:Study of grammar items and practice problems based on Chapters
	9-12 (Note: A midterm test is scheduled for Week 8)
	Week 15: Final test
	1.
Prerequisites	Students should have been placed at Level N700 according to the placement test.
Grading policy	Final test 40%, Midterm test 30%, Homework 25%, Attendance and participation
	5%
Study outside of class	Preview and review of textbook and practice problem handouts
Textbook(s)	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio, 3300 yen $+\ {\rm tax})$
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student require-	Students are expected to be active learners.
ments	
Others	Students must have been placed in this level according to the placement test.

授業科目名	総合日本語7話す聞く
科目番号	3901392
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 火 1
担当教員	小池 康
授業概要	社会,文化に関する話題について、次のような話す/聞く活動ができる。 ・日本文化、
	日本社会、時事問題についてのテレビ番組等を視聴し、その内容を理 解する。 ・そ
	の話題について、内容をまとめ、他者にわかりやすく説明することができる。 ・上記
	の話題について自分の意見をまとめ他者に伝えることができる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N761
授業形態	演習
授業の到達目標及び	社会,文化に関する話題を通して、下記の話す/聞く能力を定着させる。
テーマ	・日本の社会や文化などについてのテレビ番組等を視聴し、その内容を理解する。
	・上記の話題の内容をまとめ、わかりやすく説明することができる。
	・上記の話題について自分の意見をまとめ、他者に伝えることができる。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、第2週から第14週:番組等の視聴とグループディスカッ
	ションを行う (ただし、第8週は中間試験を予定)、第15週:期末試験
履修条件	総合日本語7以上
成績評価方法	期末試験 $30\%$ 、中間試験 $20\%$ 、クラス活動 $40\%$ 、宿題実施 $10\%$
授業外における学習方	文化・時事問題等について事前調査を行う。
法	
教科書	1. Handouts
参考書	なし
受講生に望むこと	このクラスでは、予習内容の他にも適宜さまざまなことに話が及ぶので、日本の諸側
	面に関して常にアンテナを張るようにすること。
その他	受講者のレベルやニーズに合わせて、練習やタスクと課題を変えながら柔軟に対応し
	ていく。

Course	Comprehensive Japanese 7 Speaking and Listening
Course No.	3901392
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Tue1
Instructor	Yasushi Koike
Course Overview	社会,文化に関する話題について、次のような話す/聞く活動ができる。 ・日本文化、
	日本社会、時事問題についてのテレビ番組等を視聴し、その内容を理 解する。 ・そ
	の話題について、内容をまとめ、他者にわかりやすく説明することができる。 ・上記
	の話題について自分の意見をまとめ他者に伝えることができる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N761
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will develop their speaking and listening abilities in relation to socio-
	cultural topics and be able to:
	$\cdot$ view and understand the content of television programs on Japanese society
	and culture.
	• make a summary and clearly explain what they watched.
	• form and relate to others their own opinion about what they watched.
Schedule	Week 1:Orientation
	Weeks 2 to 14:Viewing TV programs, etc and engaging in group discussions (Note:
	A midterm test is scheduled for Week 8)
	Week 15: Final test
	1.
Prerequisites	Students should be in Level Comprehensive Japanese 7 or higher.
Grading policy	Final test 30%, Midterm test 20%, In-class activities 40%, Homework 10%
Study outside of class	Students are encouraged to do prior research about Japanese culture and current
	issues.
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	
Student require-	In this class, since discussions span different topics as necessary apart from what
ments	should be previewed for the lesson, students must attune themselves to various
	aspects of Japan.
Others	The class will be flexible according to the students' level and needs and changes
	will be made to exercises, tasks, and assignments as necessary.
授業科目名	総合日本語 7 話す聞く
------------	---
科目番号	3901402
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
	秋 ABC 火 1
担当教員	小池 康
授業概要	社会,文化に関する話題について、次のような話す/聞く活動ができる。 ・日本文化、
	日本社会、時事問題についてのテレビ番組等を視聴し、その内容を理 解する。 ・そ
	の話題について、内容をまとめ、他者にわかりやすく説明することができる。 ・上記
	の話題について自分の意見をまとめ他者に伝えることができる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N762
授業形態	演習
授業の到達目標及び	社会,文化に関する話題を通して、下記の話す/聞く能力を定着させる。
テーマ	・日本の社会や文化などについてのテレビ番組等を視聴し、その内容を理解する。
	・上記の話題の内容をまとめ、わかりやすく説明することができる。
	・上記の話題について自分の意見をまとめ、他者に伝えることができる。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、第2週から第14週:番組等の視聴とグループディスカッ
	ションを行う (ただし、第8週は中間試験を予定)、第15週:期末試験
履修条件	総合日本語7以上
成績評価方法	期末試験 $30\%$ 、中間試験 $20\%$ 、クラス活動 $40\%$ 、宿題実施 $10\%$
授業外における学習方	文化・時事問題等について事前調査を行う。
法	
教科書	1. Handouts
参考書	なし
受講生に望むこと	このクラスでは、予習内容の他にも適宜さまざまなことに話が及ぶので、日本の諸側
	面に関して常にアンテナを張るようにすること。
その他	受講者のレベルやニーズに合わせて、練習やタスクと課題を変えながら柔軟に対応し
	ていく。

Course	Comprehensive Japanese 7 Speaking and Listening
Course No.	3901402
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Tue1
Instructor	Yasushi Koike
Course Overview	社会,文化に関する話題について、次のような話す/聞く活動ができる。 ・日本文化、
	日本社会、時事問題についてのテレビ番組等を視聴し、その内容を理 解する。 ・そ
	の話題について、内容をまとめ、他者にわかりやすく説明することができる。 ・上記
	の話題について自分の意見をまとめ他者に伝えることができる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N762
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will develop their speaking and listening abilities in relation to socio-
	cultural topics and be able to:
	$\cdot$ view and understand the content of television programs on Japanese society
	and culture.
	• make a summary and clearly explain what they watched.
	• form and relate to others their own opinion about what they watched.
Schedule	Week 1:Orientation
	Weeks 2 to 14:Viewing TV programs, etc and engaging in group discussions (Note:
	A midterm test is scheduled for Week 8)
	Week 15: Final test
	1.
Prerequisites	Students should be in Level Comprehensive Japanese 7 or higher.
Grading policy	Final test 30%, Midterm test 20%, In-class activities 40%, Homework 10%
Study outside of class	Students are encouraged to do prior research about Japanese culture and current
	issues.
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	
Student require-	In this class, since discussions span different topics as necessary apart from what
ments	should be previewed for the lesson, students must attune themselves to various
	aspects of Japan.
Others	The class will be flexible according to the students' level and needs and changes
	will be made to exercises, tasks, and assignments as necessary.

授業科目名	総合日本語 7 読む書く
科目番号	3901412
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 水 1
担当教員	長戸 三成子
授業概要	日本語の新聞記事が理解でき、適切な要約ができる。記事の語彙を用いて最近の日本
	の事情や自国との比較などについて意見交換ができる。読み手を意識した、明瞭な文
	章が書ける。目的に合った文体と構成の文章が書ける。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N771
授業形態	演習
授業の到達目標及び	・新聞記事や随筆や文学を読み、内容を理解して適切な要約ができる。
テーマ	・読み物を読んで、それについて根拠に基づく意見文や小論文が書ける。
	・読み手を意識した分かりやすい構成の文章が書ける。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、レベルチェック 第 $2^{\sim}14$ 週:読解と要約、書くための表
	現練習、作文練習 第 15 週:期末テスト (筆記テストと小論文)
履修条件	日本語の新聞記事が読める程度の読解力と、それを表現する作文力、漢字・語彙力が
	必要。日本語能力試験 N1 程度のレベルが望ましい。
成績評価方法	課題作文提出 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%
授業外における学習方	様々なメディアのニュースに触れて知識を増やし、自分自身の考えを深めてほしい。
法	
教科書	1. Handouts to be distributed in class
参考書	なし
受講生に望むこと	課題作文は宿題として出されるので、必ず提出するようにしてほしい。
その他	
·	

Course	Comprehensive Japanese 7 Reading and Writing
Course No.	3901412
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Wed1
Instructor	Minako Nagato
Course Overview	日本語の新聞記事が理解でき、適切な要約ができる。記事の語彙を用いて最近の日本
	の事情や自国との比較などについて意見交換ができる。読み手を意識した、明瞭な文
	章が書ける。目的に合った文体と構成の文章が書ける。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N771
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to:
	• read and understand the content of news articles, essays, literary works, etc.
	and write appropriate summaries for them
	$\cdot$ read material then write an opinion essay or short paper about it based on
	evidence.
	• write a clear, well-structured composition mindful of their target reader.
Schedule	Week 1: Orientation/Level check
	Weeks 2 to 14: Reading and summarizing, writing exercises, composition writing
	practice
	Week 15: Final test (Written test and essay writing)
	1.
Prerequisites	Students are required to possess reading comprehension skills that allows them
	to understand news articles, and have writing skills and knowledge of kanji and
	vocabulary to be able to write about these.
	A level equivalent to the Japanese-Language Proficiency Test Level N1 is desir-
	able.
Grading policy	Compositions $30\%$ , Midterm test $30\%$ , Final test $40\%$
Study outside of class	Students are expected to stay informed about news using different media to ex-
	pand their knowledge and enable them to develop their thinking.
Textbook(s)	1. Handouts to be distributed in class
Reference book(s)	
Student require-	Compositions are assigned as homework and must be submitted accordingly.
ments	
Others	

授業科目名	総合日本語 7 読む書く
科目番号	3901422
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 水 1
担当教員	長戸 三成子
授業概要	日本語の新聞記事が理解でき、適切な要約ができる。記事の語彙を用いて最近の日本
	の事情や自国との比較などについて意見交換ができる。読み手を意識した、明瞭な文
	章が書ける。目的に合った文体と構成の文章が書ける。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N772
授業形態	演習
授業の到達目標及び	・新聞記事や随筆や文学を読み、内容を理解して適切な要約ができる。
テーマ	・読み物を読んで、それについて根拠に基づく意見文や小論文が書ける。
	・読み手を意識した分かりやすい構成の文章が書ける。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、レベルチェック 第 $2^{\sim}14$ 週:読解と要約、書くための表
	現練習、作文練習 第15週:期末テスト (筆記テストと小論文)
履修条件	日本語の新聞記事が読める程度の読解力と、それを表現する作文力、漢字・語彙力が
	必要。日本語能力試験 $\mathrm{N1}$ 程度のレベルが望ましい。
成績評価方法	課題作文提出 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%
授業外における学習方	様々なメディアのニュースに触れて知識を増やし、自分自身の考えを深めてほしい。
法	
教科書	1. Handouts to be distributed in class
参考書	なし
受講生に望むこと	課題作文は宿題として出されるので、必ず提出するようにしてほしい。
その他	
·	

Course	Comprehensive Japanese 7 Reading and Writing
Course No.	3901422
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Wed1
Instructor	Minako Nagato
Course Overview	日本語の新聞記事が理解でき、適切な要約ができる。記事の語彙を用いて最近の日本
	の事情や自国との比較などについて意見交換ができる。読み手を意識した、明瞭な文
	章が書ける。目的に合った文体と構成の文章が書ける。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N772
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to:
	• read and understand the content of news articles, essays, literary works, etc.
	and write appropriate summaries for them
	$\cdot$ read material then write an opinion essay or short paper about it based on
	evidence.
	• write a clear, well-structured composition mindful of their target reader.
Schedule	Week 1: Orientation/Level check
	Weeks 2 to 14: Reading and summarizing, writing exercises, composition writing
	practice
	Week 15: Final test (Written test and essay writing)
	1.
Prerequisites	Students are required to possess reading comprehension skills that allows them
	to understand news articles, and have writing skills and knowledge of kanji and
	vocabulary to be able to write about these.
	A level equivalent to the Japanese-Language Proficiency Test Level N1 is desir-
	able.
Grading policy	Compositions 30%, Midterm test 30%, Final test 40%
Study outside of class	Students are expected to stay informed about news using different media to ex-
	pand their knowledge and enable them to develop their thinking.
Textbook(s)	1. Handouts to be distributed in class
Reference book(s)	
Student require-	Compositions are assigned as homework and must be submitted accordingly.
ments	
Others	

授業科目名	総合日本語7演習
科目番号	3901432
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1.6 平位
時間割	春 ABC 木 1
担当教員	中ADC 小 I 堀 恵子
	端 あす 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
授業概要	
/# +2	
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N781
授業形態	演習
授業の到達目標及び	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
テーマ	本語運用力を高める。
授業の概要・計画	アカデミック・スキルズを視聴し, 要約してプレゼンテーションする。テレビの科学
	番組を視聴して,書き起こし,アカデミックな内容を伝える表現・語句を身につける。
	自分の専門について、わかりやすく話す。テーマについてディスカッションをする。
履修条件	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。日本語能力試験 N1 級程度
成績評価方法	授業への取り組み $15\%$ , ふり返り活動 $10\%$ , 発表と質疑応答 $75\%$
授業外における学習方	動画を視聴し,表現を書き起こしたり,要約したりして,語彙・表現が自分で使えるよ
法	うにする。
教科書	1. Handouts
参考書	1. Sato, Nozomi et al (2012)Academic skills : note-taking, information literacy,
	critical reading, preparing presentations, writing papers. Akademiiku sukiruzu
	(Dai 2 ban) - Daigakusei no tame no chiteki gihou nyuumon. Keio University
	Press
受講生に望むこと	
	を増やすこと。
その他	- 「 場合によって筑波大学 manaba を使う。

Course	Comprehensive Japanese 7 Seminar
Course No.	3901432
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Thu1
Instructor	Keiko Hori
Course Overview	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
	本語運用力を高める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N781
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to develop skills and Japanese proficiency necessary for
	attending college classes and strengthen their overall Japanese abilities.
Schedule	The class will view the Akademikku Sukiruzu (アカデミック・スキルズ) video and
	students will summarize and make a presentation about it. Students will also
	view a science television program and transcribe it to acquire expressions and
	phrases used for academic content. Students will learn to clearly and intelligibly
	about their major and there will be discussions tackling different themes.
	1.
Prerequisites	Exchange students who are tokubetsu choukougakusei (gakugun or undergrad-
	uate students) can join the class. Please inquire at the International Student
	Center for details.
	Student's level must be Japanese-Language Proficiency Test Level N1 or its equiv-
	alent.
Grading policy	Class participation 15%, Reflective activities 10%, Presentation and Q&A 75%
Study outside of class	Students are encouraged to view the videos, make summaries and transcribe
	expressions, and learn to use vocabulary and expressions.
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	1. Sato, Nozomi et al (2012)Academic skills : note-taking, information literacy,
	critical reading, preparing presentations, writing papers. Akademiiku sukiruzu
	(Dai 2 ban) - Daigakusei no tame no chiteki gihou nyuumon. Keio University
	Press
Student require-	Students should always keep an open mind and think analytically about society.
ments	They should take every opportunity to improve and boost their vocabulary.
Others	The Tsukuba online learning tool, manaba, will be used in class on occasion.

授業科目名	総合日本語 7 演習
	3901442
1 1	1.0 単位
	1年次
	秋 ABC 木 1
	堀 恵子
授業概要	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
	本語運用力を高める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N782
授業形態	演習
授業の到達目標及び	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ, 全般的な日
テーマ	本語運用力を高める。
授業の概要・計画	アカデミック・スキルズを視聴し, 要約してプレゼンテーションする。テレビの科学
	番組を視聴して,書き起こし,アカデミックな内容を伝える表現・語句を身につける。
	自分の専門について、わかりやすく話す。テーマについてディスカッションをする。
履修条件	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。日本語能力試験 N1 級程度
成績評価方法	授業への取り組み $15\%$ , ふり返り活動 $10\%$ , 発表と質疑応答 $75\%$
授業外における学習方	動画を視聴し,表現を書き起こしたり,要約したりして,語彙・表現が自分で使えるよ
法	うにする。
教科書	1. Handouts
参考書	1. Sato, Nozomi et al (2012)Academic skills : note-taking, information literacy,
	critical reading, preparing presentations, writing papers. Akademiiku sukiruzu
	(Dai 2 ban) - Daigakusei no tame no chiteki gihou nyuumon. Keio University
	Press
受講生に望むこと	日頃から広く社会に目を向け,論理的思考をすること。あらゆる機会を通して,語彙
	を増やすこと。

Course	Comprehensive Japanese 7 Seminar
Course No.	3901442
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Thu1
Instructor	Keiko Hori
Course Overview	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日
	本語運用力を高める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N782
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to develop skills and Japanese proficiency necessary for
	attending college classes and strengthen their overall Japanese abilities.
Schedule	The class will view the Akademikku Sukiruzu (アカデミック・スキルズ) video and
	students will summarize and make a presentation about it. Students will also
	view a science television program and transcribe it to acquire expressions and
	phrases used for academic content. Students will learn to clearly and intelligibly
	about their major and there will be discussions tackling different themes.
	1.
Prerequisites	Exchange students who are tokubetsu choukougakusei (gakugun or undergrad-
	uate students) can join the class. Please inquire at the International Student
	Center for details.
	Student's level must be Japanese-Language Proficiency Test Level N1 or its equiv-
	alent.
Grading policy	Class participation 15%, Reflective activities 10%, Presentation and Q&A 75%
Study outside of class	Students are encouraged to view the videos, make summaries and transcribe
	expressions, and learn to use vocabulary and expressions.
Textbook(s)	1. Handouts
Reference $book(s)$	1. Sato, Nozomi et al (2012)Academic skills : note-taking, information literacy,
	critical reading, preparing presentations, writing papers. Akademiiku sukiruzu
	(Dai 2 ban) - Daigakusei no tame no chiteki gihou nyuumon. Keio University
	Press
Student require-	Students should always keep an open mind and think analytically about society.
ments	They should take every opportunity to improve and boost their vocabulary.
Others	The Tsukuba online learning tool, manaba, will be used in class on occasion.

[	
授業科目名	様々な日本語Ⅰ
科目番号	3901452
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 月 5
担当教員	石田 麻実
授業概要	方言をはじめ、世代、立場、キャラクターによる表現・ことばなど、様々な日本語に
	触れ、日本語を楽しむ。 日本語に対する知識を深める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N011
授業形態	演習
授業の到達目標及び	方言をはじめ、男女・世代、立場・キャラクターによる表現・ことばなど、日本語の
テーマ	バリエーションに触れる。川柳などを通して日本語のリズムを楽しむ。
	日本語に対する知識を深める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。
	初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
	課題、成果物提出、クイズあり。
	「旅行で役に立つ方言集」を作成する。グループで調べた方言についても発表
	する。
	ドラマ、アニメを使用することもある。
履修条件	総合日本語 4、5 レベルの学生
成績評価方法	成果物の完成度 (発表を含む) 30%、クイズ 20%、 課題 (宿題)20%
	積極的な取り組み 10%
	(ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方	宿題 (予習・復習)
法	
教科書	1. Handouts
参考書	必要時に紹介する
受講生に望むこと	・自主的に調べ、課題を遂行することを期待するため、受講生には柔軟性を持ち、積
	極的に課題に取り組んでほしい。
	・グループワークにおいても自主的に、積極的に、協調性をもって取り組んでほしい。
	・教室の外でも積極的に日本語に触れてほしい。
その他	・受講希望者は第1回目の授業に出席すること。
	・受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、内容が変更する場合がある。
	・毎回プリントを配布するので、受講者はファイルをしておくこと。

Course	Varieties of Japanese I
Course No.	3901452
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Mon5
Instructor	Mami Ishida
Course Overview	方言をはじめ、世代、立場、キャラクターによる表現・ことばなど、様々な日本語に
	│ │触れ、日本語を楽しむ。 日本語に対する知識を深める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N011
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will learn about variations of the Japanese language including dialects
	and expressions and vocabulary according to gender, social positions, and char-
	acter. They can enjoy discovering Japanese rhythm through poetry like senryu,
	further deepening their knowledge of the language.
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class
	* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.
	* Students will complete and submit tasks and assignments.
	* Students will create a compilation of useful words and phrase of Japanese
	dialects for travelers. They will also make a presentation about it in groups.
	* TV dramas and animation will be used as learning material.
	1.
Prerequisites	Students must be in Comprehensive Japanese 4 or in Level 5.
Grading policy	Class performance (including oral presentation) 30%, Quizzes 20%, Assignments
01 0	(Homework) 20%,
	Active participation 10%
	(Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Homework (Preview and review)
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	To be given as necessary
Student require-	• It is hoped that students show flexibility and actively tackle assignments as
ments	they are expected to work independently in research and carrying out tasks.
	• They are expected to be independent, active, and cooperative in group work.
	• They will also be expected to use Japanese as much as they can outside of the
	classroom.
Others	• Attendance to the first meeting is a must for those who intend to enrol in the
	course.
	• The class content may change according to the number of enrolled students,
	their level and needs.
	• Students should keep a folder for filing handouts which will be distributed every
	meeting.

	I
授業科目名	様々な日本語Ⅰ
科目番号	3901462
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 月 5
担当教員	石田 麻実
授業概要	方言をはじめ、世代、立場、キャラクターによる表現・ことばなど、様々な日本語に
	触れ、日本語を楽しむ。 日本語に対する知識を深める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N012
授業形態	演習
授業の到達目標及び	方言をはじめ、男女・世代、立場・キャラクターによる表現・ことばなど、日本語の
テーマ	バリエーションに触れる。川柳などを通して日本語のリズムを楽しむ。
	日本語に対する知識を深める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。
	初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
	課題、成果物提出、クイズあり。
	「(旅行で役に立つ)方言集」を作成する。グループで調べた方言についても発表
	する。
	ドラマ、アニメを使用することもある。
履修条件	総合日本語 4、5 レベルの学生
成績評価方法	成果物の完成度 (発表を含む) 30%、クイズ 20% 課題 (宿題)20%
	積極的な取り組み 10%
	(ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方	宿題 (予習・復習)
法	
教科書	1. Handouts
参考書	必要時に紹介する
受講生に望むこと	・自主的に調べ、課題を遂行することを期待するため、受講生には柔軟性を持ち、積
	極的に課題に取り組んでほしい。
	・グループワークにおいても自主的に、積極的に、協調性をもって取り組んでほしい。
	・教室の外でも積極的に日本語に触れてほしい。
その他	・受講希望者は第1回目の授業に出席すること。
	・受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、内容が変更する場合がある。
	・毎回プリントを配布するので、受講者はファイルをしておくこと。

Course	Varieties of Japanese I
Course No.	3901462
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Mon5
Instructor	Mami Ishida
Course Overview	方言をはじめ、世代、立場、キャラクターによる表現・ことばなど、様々な日本語に
Course Overview	触れ、日本語を楽しむ。 日本語に対する知識を深める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N012
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will learn about variations of the Japanese language including dialects
<b>9</b> ( )	and expressions and vocabulary according to gender, social positions, and char-
	acter. They can enjoy discovering Japanese rhythm through poetry like senryu.
	further deepening their knowledge of the language.
Schedule	Week 1: Orientation
Solicatio	Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class
	* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.
	* Students will complete and submit tasks and assignments.
	* Students will create a compilation of useful words and phrase of Japanese
	dialects for travelers. They will also make a presentation about it in groups.
	* TV dramas and animation will be used as learning material.
	1. 1.
Prerequisites	Students must be in Comprehensive Japanese 4 or in Level 5.
Grading policy	Class performance (including oral presentation) 30%, Quizzes 20%, Assignments
Grading policy	
	(Homework) 20%,
	Active participation $10\%$
	(Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	
Textbook(s)	Homework (Preview and review)
	1. Handouts
Reference book(s)	To be given as necessary
Student require-	• It is hoped that students show flexibility and actively tackle assignments as
ments	they are expected to work independently in research and carrying out tasks.
	• They are expected to be independent, active, and cooperative in group work.
	• They will also be expected to use Japanese as much as they can outside of the
	classroom.
Others	• Attendance to the first meeting is a must for those who intend to enrol in the
	course.
	• The class content may change according to the number of enrolled students,
	their level and needs.
	$\cdot$ Students should keep a folder for filing handouts which will be distributed every
	meeting.

授業科目名	様々な日本語 II
科目番号	3901472
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 月 5
担当教員	小野 正樹
授業概要	様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語を楽しみ、 日本語に対する知識を深め る。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N041
授業形態	演習
授業の到達目標及び	様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語を楽しみ、
テーマ	日本語に対する知識を深める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。
	課題提出、テストあり。
	初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
履修条件	総合日本語 6、7 レベルの学生
成績評価方法	課題の完成度 $30\%$ テスト $30\%$ 宿題提出 $20\%$ 積極的な取り組み $20\%$
	(ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方	予習・復習をする
法	
教科書	1. Handouts will be given out.
参考書	必要時に紹介する
受講生に望むこと	積極的に課題に取り組んでほしい。教室の外でも積極的に日本語に触れてほしい。
その他	受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、内容が変更する場合がある。毎回プリン
	トを配布するので、受講者はファイルをしておくこと。

Course	Varieties of Japanese II
Course No.	3901472
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Mon5
Instructor	Masaki Ono
Course Overview	様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語を楽しみ、 日本語に対する知識を深め
	<b>ర</b> .
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N041
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will deepen their understanding of the Japanese language as they enjoy
	learning about different genres and uses of the language.
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class
	* There will be assignments and tests.
	* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.
	1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 6 or in Level 7.
Grading policy	Assignments 30%, Tests 30%, Homework 20%, Class participation $20\%$
	(Attendance rate of $70\%$ or higher is required)
Study outside of class	Preview and review lessons.
Textbook(s)	1. Handouts will be given out.
Reference book(s)	Will be introduced as necessary.
Student require-	Students are expected to be active in handling tasks. They are also expected to
ments	use Japanese as much as they can outside of the classroom.
Others	Class content may be adjusted according to the level, needs, and the number of
	students enrolled. Students should keep a folder for filing handouts which will be
	distributed every meeting.

授業科目名	様々な日本語 II
科目番号	3901482
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 月 5
担当教員	小野 正樹
授業概要	様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語を楽しみ、 日本語に対する知識を深め る。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N042
授業形態	演習
授業の到達目標及び	様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語を楽しみ、日本語に対する知識を深め
テーマ	<b>న</b> .
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。
	課題提出、テストあり。
	初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
履修条件	総合日本語 6、7 レベルの学生
成績評価方法	課題の完成度 $30\%$ テスト $30\%$ 宿題提出 $20\%$ 積極的な取り組み $20\%$
	(ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方	予習・復習をする
法	
教科書	1. Handouts will be given out.
参考書	必要時に紹介する
受講生に望むこと	積極的に課題に取り組んでほしい。教室の外でも積極的に日本語に触れてほしい。
その他	受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、内容が変更する場合がある。毎回プリン
	トを配布するので、受講者はファイルをしておくこと。

Course	Varieties of Japanese II
Course No.	3901482
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Mon5
Instructor	Masaki Ono
Course Overview	様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語を楽しみ、 日本語に対する知識を深め
	<b>ర</b> .
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N042
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will deepen their understanding of the Japanese language as they enjoy
	learning about different genres and uses of the language.
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class
	* There will be assignments and tests.
	* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.
	1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 6 or in Level 7.
Grading policy	Assignments 30%, Tests 30%, Homework 20%, Class participation 20%
	(Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Preview and review lessons.
Textbook(s)	1. Handouts will be given out.
Reference $book(s)$	Will be introduced as necessary.
Student require-	Students are expected to be active in handling tasks. They are also expected to
ments	use Japanese as much as they can outside of the classroom.
Others	Class content may be adjusted according to the level, needs, and the number of
	students enrolled. Students should keep a folder for filing handouts which will be
	distributed every meeting.

[	
授業科目名	制作日本語Ⅰ
科目番号	3901532
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 水 5
担当教員	山田 野絵
授業概要	中級中期日本語に向けて語彙を増やすことを目的とし、テーマに沿った語彙収集を行
	い、最終的には各自の興味ある分野や専門分野についての語彙収集および用語集の作
	成を目標とする。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N031
授業形態	演習
授業の到達目標及び	中級中期日本語に向けて語彙を増やすことを目的とし、テーマに沿った語彙収集を行
テーマ	い、最終的には各自の興味ある分野や専門分野についての語彙収集および用語集の作
	成を目標とする。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第2 <sup>~11</sup> 週:グループワークにてテーマ
	に沿って語彙を収集し、テスト作成、作文等の課題に取り組む 第 12~15 週:各自の興
	味ある分野や専門分野についての語彙を収集し、用語集を作成・発表
履修条件	総合日本語 4,5 レベル
成績評価方法	授業参加態度 30% 成果物 40% 課題 30%
	(ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方	語彙収集、用語集作成等
法	
教科書	1. Handouts
参考書	特になし
受講生に望むこと	言葉に興味があり、特にグループワークにて課題に自主的、協力的、積極的に取り組
	めること
その他	*受講希望者は第1週に必ず出席すること
	*授業内容は受講者の人数・レベルにより変更の可能性あり
L	1

Course	Japanese Project I
Course No.	3901532
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Wed5
Instructor	Noe Yamada
Course Overview	中級中期日本語に向けて語彙を増やすことを目的とし、テーマに沿った語彙収集を行
	い、最終的には各自の興味ある分野や専門分野についての語彙収集および用語集の作
	成を目標とする。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N031
Course Type	class exercises
Objective(s)	The course aims to increase students' vocabulary for mid-intermediate Japanese
	with the ultimate goal of creating a collection of vocabulary and glossary about
	specialized fields and students' fields of interest.
Schedule	Week 1: Orientation/Level check
	Weeks 2 to 11: In groups, collect vocabulary words on given themes and tackle
	tasks including developing tests and writing compositions
	Weeks 12 to 15: Collect vocabulary on students' fields of interest or specializations
	and create then present a glossary
	1.
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 4 or 5.
Grading policy	Class participation $30\%$ , Final project $40\%$ , Assignments $30\%$
	(Attendance rate of $70\%$ or higher is required)
Study outside of class	Collection of vocabulary words, creation of glossary, etc
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	
Student require-	Students must be interested in language and are able to work independently, and
ments	can be active and cooperate within a group
Others	* Those who intend to enrol must attend the first meeting.
	* Class content may be adjusted according to the level and the number of students
	enrolled.

[	
授業科目名	制作日本語Ⅰ
科目番号	3901542
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 水 5
担当教員	山田 野絵
授業概要	中級中期日本語に向けて語彙を増やすことを目的とし、テーマに沿った語彙収集を行
	い、最終的には各自の興味ある分野や専門分野についての語彙収集および用語集の作
	成を目標とする。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N032
授業形態	演習
授業の到達目標及び	中級中期日本語に向けて語彙を増やすことを目的とし、テーマに沿った語彙収集を行
テーマ	い、最終的には各自の興味ある分野や専門分野についての語彙収集および用語集の作
	成を目標とする。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第2 <sup>~11</sup> 週:グループワークにてテーマ
	に沿って語彙を収集し、テスト作成、作文等の課題に取り組む 第 12~15 週:各自の興
	味ある分野や専門分野についての語彙を収集し、用語集を作成・発表
履修条件	総合日本語 4,5 レベル
成績評価方法	授業参加態度 30% 成果物 40% 課題 30%
	(ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方	語彙収集、用語集作成等
法	
教科書	1. Handouts
参考書	特になし
受講生に望むこと	言葉に興味があり、特にグループワークにて課題に自主的、協力的、積極的に取り組
	めること
その他	*受講希望者は第1週に必ず出席すること
	*授業内容は受講者の人数・レベルにより変更の可能性あり

Course	Japanese Project I
Course No.	3901542
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Wed5
Instructor	Noe Yamada
Course Overview	中級中期日本語に向けて語彙を増やすことを目的とし、テーマに沿った語彙収集を行
	い、最終的には各自の興味ある分野や専門分野についての語彙収集および用語集の作
	成を目標とする。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N032
Course Type	class exercises
Objective(s)	The course aims to increase students' vocabulary for mid-intermediate Japanese
	with the ultimate goal of creating a collection of vocabulary and glossary about
	specialized fields and students' fields of interest.
Schedule	Week 1: Orientation/Level check
	Weeks 2 to 11: In groups, collect vocabulary words on given themes and tackle
	tasks including developing tests and writing compositions
	Weeks 12 to 15: Collect vocabulary on students' fields of interest or specializations
	and create then present a glossary
	1.
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 4 or 5.
Grading policy	Class participation $30\%$ , Final project $40\%$ , Assignments $30\%$
	(Attendance rate of $70\%$ or higher is required)
Study outside of class	Collection of vocabulary words, creation of glossary, etc
Textbook(s)	1. Handouts
Reference $book(s)$	
Student require-	Students must be interested in language and are able to work independently, and
ments	can be active and cooperate within a group
Others	* Those who intend to enrol must attend the first meeting.
	* Class content may be adjusted according to the level and the number of students
	enrolled.

授業科目名	制作日本語 II
科目番号	3901552
	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 木 5
担当教員	柳田 しのぶ
授業概要	日用生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発
	話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につける、それらを使用できるようにな
	<b>ర</b> .
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N061
授業形態	演習
授業の到達目標及び	日用生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発
テーマ	話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につけ、それらを使用できるようになる。
授業の概要・計画	第1週 (レベルチェック・オリエンテーション)、第 $2^{\sim}6$ 週 (基礎練習・実践練習)、第
	7 週 (中間発表)、第 8 週 (中間発表のフィードバック)、第 9 週~14 週 (台本の作成と
	実践練習)、第15週 (最終発表)
履修条件	総合日本語 6,7 レベル
成績評価方法	クラス活動 20%、レポート (台本)20%、中間発表 20%、期末発表 40%
授業外における学習方	1発声・実技練習のためのテキスト (台本) を読む :個人活動
法	2 実技のためのレポート (台本) の作成:グループ活動
	3 台本を熟読し、役の気持ちを理解する :個人活動
	4 グループごとの練習 :グループ活動
教科書	1. Handouts (to be prepared and distributed by instructor)
参考書	なし
受講生に望むこと	グループワークが主体の授業になるのですべての授業に出席できることが望ましい。
その他	なし

Course	Japanese Project II
Course No.	3901552
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Thu5
Instructor	Shinobu Yanagita
Course Overview	日用生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発
	話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につける、それらを使用できるようにな
	వె.
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N061
Course Type	class exercises
Objective(s)	Through drama, students will learn about timing one's speech and natural ex-
,	pressions in Japanese, and be able to apply these to situations in daily living and
	for particular places and times.
Schedule	Week 1: Level check/Orientation
	Weeks 2 to 6: Basic and practical drills
	Week 7: Midterm presentation
	Week 8: Midterm presentation evaluation
	Weeks 9 to 14: Script making and practical drills
	Week 15: Final presentation
	1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 6 or in Level 7.
Grading policy	Class activities 20%, Report (Script) 20%, Midterm presentation 20%, Final pre-
	sentation 40%
Study outside of class	(1) Read the text or scripts for vocal exercises and skills practice: Individual
	(2) Creating a skills report or script: Group
	(3) Study the script and understand the role: Individual
	(4) Practice as a group: Group
Textbook(s)	1. Handouts (to be prepared and distributed by instructor)
Reference book(s)	
Student require-	Since the course will mainly involve groupwork, attendance in all classes is desired.
ments	
Others	

授業科目名	制作日本語 II
科目番号	3901562
	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
	秋 ABC 木 5
担当教員	柳田 しのぶ
授業概要	日用生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発
	話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につける、それらを使用できるようにな
	<b>ర</b> .
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N062
授業形態	演習
授業の到達目標及び	日用生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発
テーマ	話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につけ、それらを使用できるようになる。
授業の概要・計画	第1週 (レベルチェック・オリエンテーション)、第 $2^{\sim}6$ 週 (基礎練習・実践練習)、第
	7 週 (中間発表)、第 8 週 (中間発表のフィードバック)、第 9 週~14 週 (台本の作成と
	実践練習)、第15週 (最終発表)
履修条件	総合日本語 6,7 レベル
成績評価方法	クラス活動 20%、レポート (台本)20%、中間発表 20%、期末発表 40%
授業外における学習方	1発声・実技練習のためのテキスト (台本) を読む :個人活動
法	2 実技のためのレポート (台本) の作成:グループ活動
	3 台本を熟読し、役の気持ちを理解する :個人活動
	4 グループごとの練習 :グループ活動
教科書	1. Handouts (to be prepared and distributed by instructor)
参考書	なし
受講生に望むこと	グループワークが主体の授業になるのですべての授業に出席できることが望ましい。
その他	なし

Course	Japanese Project II
Course No.	3901562
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Thu5
Instructor	Shinobu Yanagita
Course Overview	日用生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発
	話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につける、それらを使用できるようにな
	వె.
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N062
Course Type	class exercises
Objective(s)	Through drama, students will learn about timing one's speech and natural ex-
	pressions in Japanese, and be able to apply these to situations in daily living and
	for particular places and times.
Schedule	Week 1: Level check/Orientation
	Weeks 2 to 6: Basic and practical drills
	Week 7: Midterm presentation
	Week 8: Midterm presentation evaluation
	Weeks 9 to 14: Script making and practical drills
	Week 15: Final presentation
	1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 6 or in Level 7.
Grading policy	Class activities 20%, Report (Script) 20%, Midterm presentation 20%, Final pre-
	sentation 40%
Study outside of class	(1) Read the text or scripts for vocal exercises and skills practice: Individual
	(2) Creating a skills report or script: Group
	(3) Study the script and understand the role: Individual
	(4) Practice as a group: Group
Textbook(s)	1. Handouts (to be prepared and distributed by instructor)
Reference book(s)	
Student require-	Since the course will mainly involve groupwork, attendance in all classes is desired.
ments	
Others	

授業科目名	フィールドワーク日本語
科目番号	3901572
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 水 5
担当教員	吉田 麻子
授業概要	身近な日本文化・生活に関連したテーマについて、個人またはグループでインタ
	ビュー等により情報を収集し、それらをまとめて 10 分程度の発表することができる。
	日本語でのインタビューを計画・実施し、インタビュー内容を文字起こしすることが
	できる。集めた情報を発表にまとめることができる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N071
授業形態	演習
授業の到達目標及び	日本に来て気がついたこと、自分の国と日本の違いなどについて、自分の考えを整理
テーマ	して話すことができる。また、簡単なインタビューや調査などの結果をまとめて、3
	分程度の発表をすることができる。
授業の概要・計画	第1週オリエンテーション、第 $2^{\sim}14$ 週 要約練習・レポート作成のための作文練習、
	第15週 レポートの自己評価・レポート要約作成
	、第 $2^{2}4$ 週 記録をつける練習 第 $5^{2}7$ 週 観察したことを書く練習、第 $8^{2}10$ 週 簡単
	なインタビューの実施 第 11、12 週 発表及び成果物準備 第 13,14 週 発表 (録画) 第
	15 週 録画を見て内省
履修条件	総合日本語レベル2、3の日本語力のあること。
成績評価方法	授業参加態度 $40\%$ 、課題遂行 $20\%$ 、発表 $30\%$ 、成果物 $10\%$
	(ただし、 $70%$ 以上の出席率が必要 $)$
	発表の評価は、自己評価、学習者同士の相互評価等を含む。
授業外における学習方	最終課題達成のために、授業時間内に終わらなかった作業を終えることが望ましい。
法	
教科書	特になし
参考書	特になし
受講生に望むこと	日本の生活や文化に対する興味を深める意欲があり、自主的に課題に取り組めるこ
	と。
その他	・授業内容は、学習者によって柔軟に対応。

Course	Japanese Fieldwork
Course No.	3901572
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Wed5
Instructor	Asako Yoshida
Course Overview	身近な日本文化・生活に関連したテーマについて、個人またはグループでインタ
	ビュー等により情報を収集し、それらをまとめて 10 分程度の発表することができる。
	日本語でのインタビューを計画・実施し、インタビュー内容を文字起こしすることが
	できる。集めた情報を発表にまとめることができる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N071
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to organize their thoughts and speak about topics such as
	the difference between Japan and their own countries, and things they observed
	since coming to Japan. They will also be able to make a summary report after
	conducting an interview or survey and make a three-minute speech about it.
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 14: Summary writing practice and composition practice for report
	writing
	Week 15: Self evaluation and summary writing of the report
	==
	Weeks 2-4 Note-taking and recording; Weeks 5-7 Writing observations; Weeks
	8-10 Conducting simple interviews; Weeks 11-12 Final project and presentation
	preparations; Weeks 13-14 Presentation (recorded); Week 15 Review of perfor-
	mance and reflection
	1.
Prerequisites	Students must have Level Comprehensive Japanese 2 or in Level 3. of the
	Japanese language proficiency test.
Grading policy	Classroom participation 40%, Assignments 20%, Presentation 30%, Final project
	10% (Attendance rate of $70%$ or higher is required)
	Evaluation for the presentation includes self evaluation and peer evaluation.
Study outside of class	Students are encouraged to complete all tasks not finished within class hours to
	be able to fulfill requirements.
Textbook(s)	
Reference book(s)	
Student require-	Students must have the desire to deepen their interest in Japanese life and culture
ments	and tackle assignments independently.
Others	• Class content may be adjusted according to the students enrolled.

授業科目名	フィールドワーク日本語
科目番号	3901582
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1年次
時間割	秋 ABC 水 5
担当教員	吉田 麻子
授業概要	身近な日本文化・生活に関連したテーマについて、個人またはグループでインタ
	ビュー等により情報を収集し、それらをまとめて 10 分程度の発表することができる。
	日本語でのインタビューを計画・実施し、インタビュー内容を文字起こしすることが
	できる。集めた情報を発表にまとめることができる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N072
授業形態	演習
授業の到達目標及び	日本に来て気がついたこと、自分の国と日本の違いなどについて、自分の考えを整理
テーマ	して話すことができる。また、簡単なインタビューや調査などの結果をまとめて、3
	分程度の発表をすることができる。
授業の概要・計画	第1週オリエンテーション、第 $2^{\sim}14$ 週 要約練習・レポート作成のための作文練習、
	第15週 レポートの自己評価・レポート要約作成
	、第 $2^{2}4$ 週 記録をつける練習 第 $5^{2}7$ 週 観察したことを書く練習、第 $8^{2}10$ 週 簡単
	なインタビューの実施 第 $11$ 、 $12$ 週 発表及び成果物準備 第 $13,14$ 週 発表 (録画) 第
	15週 録画を見て内省
履修条件	総合日本語レベル2、3の日本語力のあること。
成績評価方法	授業参加態度 $40\%$ 、課題遂行 $20\%$ 、発表 $30\%$ 、成果物 $10\%$
	(ただし、70% 以上の出席率が必要)
	発表の評価は、自己評価、学習者同士の相互評価等を含む。
授業外における学習方	最終課題達成のために、授業時間内に終わらなかった作業を終えることが望ましい。
法	
教科書	特になし
参考書	特になし
受講生に望むこと	日本の生活や文化に対する興味を深める意欲があり、自主的に課題に取り組めるこ
	と。
その他	・授業内容は、学習者によって柔軟に対応。

Course	Japanese Fieldwork
Course No.	3901582
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Wed5
Instructor	Asako Yoshida
Course Overview	身近な日本文化・生活に関連したテーマについて、個人またはグループでインタ
	ビュー等により情報を収集し、それらをまとめて 10 分程度の発表することができる。
	日本語でのインタビューを計画・実施し、インタビュー内容を文字起こしすることが
	できる。集めた情報を発表にまとめることができる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N072
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to organize their thoughts and speak about topics such as
	the difference between Japan and their own countries, and things they observed
	since coming to Japan. They will also be able to make a summary report after
	conducting an interview or survey and make a three-minute speech about it.
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 14: Summary writing practice and composition practice for report
	writing
	Week 15: Self evaluation and summary writing of the report
	==
	Weeks 2-4 Note-taking and recording; Weeks 5-7 Writing observations; Weeks
	8-10 Conducting simple interviews; Weeks 11-12 Final project and presentation
	preparations; Weeks 13-14 Presentation (recorded); Week 15 Review of perfor-
	mance and reflection
	1.
Prerequisites	Students must have Level Comprehensive Japanese 2 or in Level 3. of the
	Japanese language proficiency test.
Grading policy	Classroom participation 40%, Assignments 20%, Presentation 30%, Final project
	10% (Attendance rate of $70%$ or higher is required)
	Evaluation for the presentation includes self evaluation and peer evaluation.
Study outside of class	Students are encouraged to complete all tasks not finished within class hours to
	be able to fulfill requirements.
Textbook(s)	
Reference book(s)	
Student require-	Students must have the desire to deepen their interest in Japanese life and culture
ments	and tackle assignments independently.
Others	• Class content may be adjusted according to the students enrolled.

授業科目名	プロジェクトワーク日本語
科目番号	3901592
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 金 5
担当教員	関口 美緒
授業概要	各自が設定したテーマに沿ってプロジェクトワークを行う。これまで学習してきた日
	本語を駆使し、生の日本語に触れ、語彙、表現を広げることを目指す。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N081
授業形態	演習
授業の到達目標及び	日本についてより知るために、身近にある文化・言語変容について日本と母国を比
テーマ	較・分析し、その変化過程や理由を考える。自分の考えを日本語で解りやすく説明す
	<b>న</b> .
授業の概要・計画	初回 $(1^2 2 0)$ で文化変容 (accutulation)・言語変容 (ピジン・クレオール) など概論
	を説明し、身近かな話題の例を紹介する。前半5回は日本と国の文化変容について考
	え意見交換し、ポスター (または $\operatorname{PPT}$ ) 発表する。後半 $5$ 回は日本と国の言語変容に
	ついて考える。最後4回で公開発表用のビデオ(ポスター等)を作成し、多くの例を
	文書にまとめて小冊子を作成したい。
履修条件	総合日本語 2、3 レベル
成績評価方法	前半ポスター発表 20%、後半ビデオ作成 30%、小冊子作成 30%、授業参加貢献度
	10%、授業外学習度 10%(宿題・調査資料・準備学習等提出)
授業外における学習方	自分のテーマに沿って、日本の文化・言語の特徴を調べて、自国の文化と比較するた
法	め、本やインターネットなどを使った授業外の調査が必要である。
教科書	なし
参考書	なし (配布資料等)
受講生に望むこと	両国の文化の類似点と相違点を理解し、クラスメイトの意見を聞き意見交換をするこ
	とで、日本での生活を考えたり、お互いに共感したりできる場になるとよい。積極的
	に意見交換をし、クラスが一丸となってプロジェクトを達成させ、研究結果を公開し
	<i>t</i> =l 1。
その他	5回欠席で D。意見交換・資料作成・発表時に欠席の場合、減点される。

Course	Japanese Project Work
Course No.	3901592
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Fri5
Instructor	Mio Sekiguchi
Course Overview	各自が設定したテーマに沿ってプロジェクトワークを行う。これまで学習してきた日 本語を駆使し、生の日本語に触れ、語彙、表現を広げることを目指す。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確認すること。 N081
Course Type	class exercises
Objective(s)	In order to know more about Japan, students will compare and analyze the transformation of culture (acculturation) and language in Japan and in their own country, and think about processes of change and the possible reasons for these. Students will learn to explain their thoughts and ideas in Japanese clearly and plainly.
Schedule	The first few meetings (1-2 times) will be an introduction to the concepts of acculturation and pidgins/creoles and students will be presented with familiar examples of these. In the first half of the course, students will reflect on acculturation in Japan and their own country and engage in discussions and exchange ideas, then give a poster (or PowerPoint) presentation. In the latter half of the course, students will be thinking about language trans- formation in Japan and their own country. For the final four meetings, they will create a video (or poster, etc) made for open viewing then put together several examples of language transformation to make into a booklet. 1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 2 or in Level 3.
Grading policy	Poster presentation (1st half) 20%, video production (2nd half) 30%, booklet 30%, class participation 10%, activities done outside of class 10% (submission of homework, survey materials, other preparations)
Study outside of class	Students will be examining characteristics of Japanese culture and language based on a theme they choose, so they will need to do research outside of class hours through reading or searching on the Internet and be able compare this to the culture and language of their own country.
Textbook(s)	
Reference book(s)	None (Handouts to be distributed in class)
Student require-	Students must understand the similarities and differences in the cultures of both
ments	their own country and Japan and by listening to their classmates and exchanging
	opinion, it is hoped that it will become a venue for them to think about their life
	in Japan and to sympathize with each other.
	Students must be active in exchanging ideas and as they become one as a class.
	it is also hoped that they can achieve all the projects and present the results of

Others	Absence up to 5 times will result in a grade of D.
	For any absence during class discussions, materials preparation, and oral presen-
	tations, points will be deducted.

授業科目名	プロジェクトワーク日本語
科目番号	3901602
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 金 5
担当教員	関口 美緒
授業概要	各自が設定したテーマに沿ってプロジェクトワークを行う。これまで学習してきた日
	本語を駆使し、生の日本語に触れ、語彙、表現を広げることを目指す。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N082
授業形態	演習
授業の到達目標及び	日本についてより知るために、身近にある文化・言語変容について日本と母国を比
テーマ	較・分析し、その変化過程や理由を考える。自分の考えを日本語で解りやすく説明す
	<b>న</b> .
授業の概要・計画	初回 $(1^2 2)$ で文化変容 (accutulation)・言語変容 (ピジン・クレオール) など概論
	を説明し、身近かな話題の例を紹介する。前半5回は日本と国の文化変容について考
	え意見交換し、ポスター (または $\operatorname{PPT}$ ) 発表する。後半 $5$ 回は日本と国の言語変容に
	ついて考える。最後4回で公開発表用のビデオ(ポスター等)を作成し、多くの例を
	文書にまとめて小冊子を作成したい。
履修条件	総合日本語 2、3 レベル
成績評価方法	前半ポスター発表 20%、後半ビデオ作成 30%、小冊子作成 30%、授業参加貢献度
	10%、授業外学習度 $10%$ (宿題・調査資料・準備学習等提出)
授業外における学習方	自分のテーマに沿って、日本の文化・言語の特徴を調べて、自国の文化と比較するた
法	め、本やインターネットなどを使った授業外の調査が必要である。
教科書	なし
参考書	なし (配布資料等)
受講生に望むこと	両国の文化の類似点と相違点を理解し、クラスメイトの意見を聞き意見交換をするこ
	とで、日本での生活を考えたり、お互いに共感したりできる場になるとよい。積極的
	に意見交換をし、クラスが一丸となってプロジェクトを達成させ、研究結果を公開し
	<i>t</i> =1%
その他	5回欠席で D。意見交換・資料作成・発表時に欠席の場合、減点される。

Course	Japanese Project Work
Course No.	3901602
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Fri5
Instructor	Mio Sekiguchi
Course Overview	各自が設定したテーマに沿ってプロジェクトワークを行う。これまで学習してきた日 本語を駆使し、生の日本語に触れ、語彙、表現を広げることを目指す。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。 N082
Course Type	class exercises
Objective(s)	In order to know more about Japan, students will compare and analyze the transformation of culture (acculturation) and language in Japan and in their own country, and think about processes of change and the possible reasons for these. Students will learn to explain their thoughts and ideas in Japanese clearly and plainly.
Schedule	The first few meetings (1-2 times) will be an introduction to the concepts of acculturation and pidgins/creoles and students will be presented with familiar examples of these. In the first half of the course, students will reflect on acculturation in Japan and their own country and engage in discussions and exchange ideas, then give a poster (or PowerPoint) presentation. In the latter half of the course, students will be thinking about language trans- formation in Japan and their own country. For the final four meetings, they will create a video (or poster, etc) made for open viewing then put together several examples of language transformation to make into a booklet. 1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 2 or in Level 3.
Grading policy	Poster presentation (1st half) 20%, video production (2nd half) 30%, booklet 30%, class participation 10%, activities done outside of class 10% (submission of homework, survey materials, other preparations)
Study outside of class	Students will be examining characteristics of Japanese culture and language based on a theme they choose, so they will need to do research outside of class hours through reading or searching on the Internet and be able compare this to the culture and language of their own country.
Textbook(s)	
Reference book(s)	None (Handouts to be distributed in class)
Student require-	Students must understand the similarities and differences in the cultures of both
ments	their own country and Japan and by listening to their classmates and exchanging
	opinion, it is hoped that it will become a venue for them to think about their life
	in Japan and to sympathize with each other.
	Students must be active in exchanging ideas and as they become one as a class.
	it is also hoped that they can achieve all the projects and present the results of
	To be also hoped that they can denote an the projects and present the results of

Others	Absence up to 5 times will result in a grade of D.
	For any absence during class discussions, materials preparation, and oral presen-
	tations, points will be deducted.

授業科目名	英語で学ぶ日本事情
科目番号	3901612
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 火 5
担当教員	小林 真紀子
授業概要	日本の社会や文化などに親しみ、日本語に対する知識を深める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N091
授業形態	演習
授業の到達目標及び	日本の社会や文化などのさまざまな側面について親しみ、日本語に対する知識を深め
テーマ	るとともに、日本での滞在を豊かなものにする。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。日本の社
	会や文化に関する映像教材を用い、それについてディスカッションを行い、参加者の
	考えを深める。
	課題提出、プロジェクトワークあり。
	初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
履修条件	全レベル (総合日本語 1~7)
成績評価方法	発表 30% 課題達成度 30% 宿題 20% クラスパフォーマンス 20%
授業外における学習方	課題に対して必要な情報収集を行う。
法	
教科書	プリントを配布する。
参考書	必要時に紹介する。
受講生に望むこと	広く日本社会文化に理解や関心を持ち、自国の文化と比較し洞察力を養ってほしい。
	他の学生との協働作業に積極的に取り組んでほしい。
その他	受講生のニーズに合わせて、授業内容を変更することがある。

Course	Japanese socio-cultural studies (taught in English)
Course No.	3901612
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Tue5
Instructor	Makiko Kobayashi
Course Overview	日本の社会や文化などに親しみ、日本語に対する知識を深める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N091
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be acquainted with different aspects of Japanese society and culture
	and they get to enrich their stay in Japan while strengthening their knowledge
	of Japanese.
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class. Video material on Japanese society and culture will be shown and
	discussions conducted based on the videos to develop students' ideas and thinking
	about Japanese society and culture.
	* There will be various tasks and assignments as well as project work.
	* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.
	1.
Prerequisites	For students of all levels (Comprehensive Japanese 1 to in Level 7.)
Grading policy	Presentation 30%, Classroom tasks and assignments 30%, Homework 20%, Class
	participation $20\%$
Study outside of class	Students have to do data gathering that is needed for tasks and assignments.
Textbook(s)	Handouts will be distributed in class.
Reference $book(s)$	Will be introduced as necessary
Student require-	It is hoped that students possess a broad understanding and interest in Japanese
ments	society and culture and gain insight as they compare it with their own culture.
	It is also desired that students be actively involved in collaborative work with
	other students
Others	The class content may change according to the students' needs.

授業科目名	英語で学ぶ日本事情
科目番号	3901622
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 火 5
担当教員	小林 真紀子
授業概要	日本の社会や文化などに親しみ、日本語に対する知識を深める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N092
授業形態	演習
授業の到達目標及び	日本の社会や文化などのさまざまな側面について親しみ、日本語に対する知識を深め
テーマ	るとともに、日本での滞在を豊かなものにする。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。日本の社
	会や文化に関する映像教材を用い、それについてディスカッションを行い、参加者の
	考えを深める。
	課題提出、プロジェクトワークあり。
	初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
履修条件	<b>全レベル</b> (総合日本語 1~7)
成績評価方法	発表 30% 課題達成度 30% 宿題 20% クラスパフォーマンス 20%
授業外における学習方	課題に対して必要な情報収集を行う。
法	
教科書	プリントを配布する。
参考書	必要時に紹介する。
受講生に望むこと	広く日本社会文化に理解や関心を持ち、自国の文化と比較し洞察力を養ってほしい。
	他の学生との協働作業に積極的に取り組んでほしい。
その他	受講生のニーズに合わせて、授業内容を変更することがある。

Course	Japanese socio-cultural studies (taught in English)
Course No.	3901622
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Tue5
Instructor	Makiko Kobayashi
Course Overview	日本の社会や文化などに親しみ、日本語に対する知識を深める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N092
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be acquainted with different aspects of Japanese society and culture
	and they get to enrich their stay in Japan while strengthening their knowledge
	of Japanese.
Schedule	Week 1: Orientation
	Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given
	in class. Video material on Japanese society and culture will be shown and
	discussions conducted based on the videos to develop students' ideas and thinking
	about Japanese society and culture.
	* There will be various tasks and assignments as well as project work.
	* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.
	1.
Prerequisites	For students of all levels (Comprehensive Japanese 1 to in Level 7.)
Grading policy	Presentation 30%, Classroom tasks and assignments 30%, Homework 20%, Class
	participation $20\%$
Study outside of class	Students have to do data gathering that is needed for tasks and assignments.
Textbook(s)	Handouts will be distributed in class.
Reference $book(s)$	Will be introduced as necessary
Student require-	It is hoped that students possess a broad understanding and interest in Japanese
ments	society and culture and gain insight as they compare it with their own culture.
	It is also desired that students be actively involved in collaborative work with
	other students.
Others	The class content may change according to the students' needs.

授業科目名	総合日本語 1
科目番号	3901632
<u>単位数</u>	4.0 単位
標準履修年次	1年次
時間割	秋 ABC 応談
担当教員	
	初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能に
	おいては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについて
	は、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、
	読める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確
	認すること。
	N102
授業形態	演習
授業の到達目標及び	必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、自己紹介
テーマ	など初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技
	能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くにつ
	いては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書
	けて、読める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、『Basic Japanese(学内版)』1課、『NEJ vol. 1』1課、
	ひらがなの確認
	第 2 週 ~ 第 7 週:『Basic Japanese(学内版)』2 課 ~ 4 課、『NEJ vol. 1』2 課 ~ 4 課、
	カタカナの確認、中間テスト
	第 8 週 ~ 第 15 週: 『Basic Japanese(学内版)』5 課 ~ 8 課、『NEJ vol. 1』5 課 ~ 8 課、
	期末テスト、プレゼンテーション
履修条件	特別聴講学生 (学類生) に限る。日本語が初めて、あるいは少しだけしか勉強したこ
	とがないこと。ひらがな・カタカナが読めること。
成績評価方法	作文 10%
	RP・スキット等 10%
	ポスタープレゼンテーション $10\%$
	<b>ユニットクイズ</b> 15%
	中間テスト 15%
	期末テスト 40%
授業外における学習方	1 各ユニット開始前にマスターテクストをしっかり予習しておく。
法	2マスターテクストに倣った作文を書く。
	<ol> <li>3 各種宿題をする。</li> </ol>
教科書	1. 『NEJ(テーマで学ぶ基礎日本語) vol. 1』
	2. コースパック (Basic Japanese(学内版) 等)
参考書	1. <sup>F</sup> Situational Functional Japanese: Notes, vol. 1.
受講生に望むこと	予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出するこ
	と。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	

授業科目名	総合日本語 2
科目番号	3901642
単位数	4.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 応談
担当教員	
授業概要	日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面での コミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単 な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテー マについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、
備考	読める。 外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確 認すること。 N202
授業形態	
授業の到達目標及び テーマ	必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情 報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・ 聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。 読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でや や長いまとまりのある文章が書けて、読める。
授業の概要・計画	<ul> <li>第1週:オリエンテーション、カタカナの確認、『Basic Japanese(学内版)』9課、『NEJ vol. 1』9課</li> <li>第2週~第7週: 『Basic Japanese(学内版)』10課~12課、『NEJ vol. 1』7課~12</li> <li>課、中間テスト</li> <li>第8週~第15週: 『Basic Japanese(学内版)』13課~16課、『NEJ vol. 2』13課~</li> <li>16課、期末テスト、プレゼンテーション</li> </ul>
履修条件	特別聴講学生(学類生)に限る。総合日本語1修了者であること、あるいはそれと同 等の日本語力があること
成績評価方法	作文 10% RP・スキット等 10% ポスタープレゼンテーション 10% ユニットクイズ 15% 中間テスト 15% 期末テスト 40%
授業外における学習方	1 各ユニット開始前にマスターテクストをしっかり予習しておく。
法	2 マスターテクストに倣った作文を書く。 3 各種宿題をする。
教科書	<ol> <li>『NEJ(テーマで学ぶ基礎日本語) vols. 1&amp;2』</li> <li>コースパック (Basic Japanese(学内版) 等)</li> </ol>
参考書	1. <sup>I</sup> Situational Functional Japanese: Notes, vol. 2.
受講生に望むこと	予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	